

会 議 録

会議の名称		令和3年度(2021年度)第1回社会教育委員会議		
開催日時		令和3年(2021年)8月4日(水)開会10:00 閉会12:10		
開催場所		つくば市役所 2階 会議室202		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	上田孝典、井坂孝、坪文雄、伊藤達也、石黒澄子、高田正澄 布浦万代 飯岡宏之、金井恵美、 長橋進也、稲葉房子 鈴木もえみ、皆川幸枝、谷村安子		
	事務局	教育局 教育長 森田充、教育局次長 貝塚厚 生涯学習推進課 課長 大久保文子、課長補佐 色川純子、係長 福田真一、 係長 神立茂盛 社会教育主事 渡邊亮太、主任主査 石澤弘美、主事 高井祐一郎 中央図書館館長 柴原徹、副館長(兼)視聴覚センター所長 松浦智恵子 市民部 文化芸術課係長 山田純一、主任 加藤良隆 スポーツ振興課課長 伊藤智治、主任 菅原理恵、 主事 井上未来		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0
非公開の場合はその理由				
議題		1 令和2年度事業実績報告 2 令和3年度主要事業の概要		
会議録署名人		確定年月日	年	月 日
会	1 開会			

議	2	委嘱状交付
次	3	挨拶
第	4	議事 (1)令和2年度事業実績報告 (2)令和3年度主要事業の概要
	5	その他
	6	閉会

<審議内容>

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 挨拶
- 4 議事

○事務局

議事に入る前に、社会教育委員会議運営規則第7条の規定により本日の委員の出席状況について事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

本日の出席委員は14名でございます。

全委員数は16名ですので、委員の過半数が出席しておりますことを御報告いたします。

○事務局

会議の成立を宣言いたします。社会教育委員会議運営規則第4条第1項の規定により議事進行につきましては議長様、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長

おはようございます。お久しぶりの集まりでございます。

皆さん方お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

御存知の通りコロナの関係で非常に混乱しております。

これは私どもつくば市だけじゃなくて、国を挙げて、或いは全世界を挙げてという大きな形の中で、しかも妙薬が全くないということから、専門官がどんなに今検討しても対応策がないという、結果的に見るとそれぞれ皆様方、あまり集まらないように、3密を避けてください。何をするにしても大勢集まることは自粛してください。とにかくマイナス思考の形で今余儀なくされている。それに対して、皆様方懸命にそれぞれ自己防衛のために頑張っていらっしゃるという状況の中で、今回の会議も大切な会議ということで、皆様お忙しい中お集まりいただいているようでございますけれども、できるだけ皆様方の御協力を得ながら、スムーズな進行を図り、速やかな時間で終わらせるような形で進めたいと思いますので、皆様の御協力、御指導をいただきながら、進行させていただきますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。それでは早速会議に入らせていただきます。

今日のテーマはまず議事としては最初に令和2年度の事業実績の報告について。それから、2番目には、令和3年度の主要事業の概要についての御説明、承認ということで、二つのテーマがございます。それでは早速第1番目の令和2年度事業実績報告について議題といたします。それぞれこれは結果報告でございますし、中身を見ますと、コロナで大分自粛している形もいろいろあるようございますが、そういう意味も含めて、一括審議にさせていただきたいなと思っておりますので、それぞれ担当の方々、次々御説明いただきまして、そのあと、一括審議をいただきますのでよろしく申し上げます。中央図書館から順次、御説明願います。

○中央図書館長

資料1の1ページから2ページになります。事業の目的、概要ですが、基本的な図書館のサービスは、資料の貸出し返却、或いは貸出しの予約、または資料のリクエストレファレンス業務などがございます。その他に読書推進活動として、図書館の利用の推進、読書により親しんでいただくような活動ということで、様々な取り組みをしています。昨年度は、冒頭に議長の方からございましたように、中央図書館も、臨時の休館をさせていただきました。

事業実績のところにありますように、臨時休館4月の4日5日そして4月の9日から、5月の10日ということで、休館しています。

なおここで、大変申し訳ございません。訂正を1ヶ所お願いしたいと思います。昨年度の開館日数、当初291日を予定しておりましたが、臨時休館等含めまして、29日、休館していますので、差し引きで開館日数が、一番上のところに266とありますが、262日に訂正をお願いします。よろしくお願ひいたします。コロナ禍におきまして、まず第1に考えたのは、利用者の方が、安心して御利用いただけるように、図書館内での安全を確保して、また、働いているスタッフも大変不安を抱えながら仕事をしていましたので、利用者の方はもちろんスタッフの安全も確保しながら、様々な事業の工夫をしながらやらせていただきました。ただ、例年に比べ、半分近くの事業が新型コロナウイルス感染拡大を防止するという目的のもとに、中止せざるをえなかったということもございます。中ほどから下の方に、以下、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止したものであるということで、いくつか挙げておりますが、こういったイベント、事業を企画しておりましたが大変残念ながら、工夫を重ねながらも、実施できなかったということが大変多くございます。そのような中で、従来のやり方を、例えば参加人数を絞るとか、また、なるべく接触とか、密になることを避けるという工夫をしながら、これまでやっていたことを実施することができたものもございます。例えばぬいぐるみのお泊まり会というのが3月の19日にございま

す。これは当初冬休みの時期にやろうと計画はしていたのですが、なかなかその対策の協議の方が進まなかった時期でもございましたので、多少時期をずらしまして、縮小する形で実施しました。しかしながら例年同様、非常に多くの方からご応募いただきまして、本当申し訳なかったのですが抽選をさせていただいて、参加者を決めたというような形をとりました。本日お手元に追加でお配りしている、図書館の方の広報媒体として「ヨモッカ」というものを、年間合計で4回ほど出しました。大きいA3二つ折りのものは、館内に配置するのはもちろんですが、市内の各区会の方に御依頼をしまして、区会回覧をさせていただいています。もう一つサイズの小さいもの、「こどもヨモッカ」というもので、小学校1年生から4年生対象に、学校さんの御協力いただきながら、児童の皆さんに配布しています。こういったところで少しでも図書館の活動であるとか、もっと図書館ってこんな便利なところなんだねとか、そういった図書館により親しみを持っていただけるような工夫をしながら、紙面構成をしまして発行しています。なお、この編集については、すべて図書館職員でやっています。続きまして、事業の2番で図書館協議会です。本日も図書館協議会会長はじめ、二名の委員の方がご出席いただいているところですが、昨年10月と3月と2回開催しました。例年は、第1回目の開催が7月、8月というところですが、年度初めの臨時休館等もございまして、第1回目を10月、そして第2回目は3月ということで、それぞれ事業計画と事業の進捗状況等の御報告等をさせていただきました。3番目図書館ボランティア活動ですが、昨年、この会議でもご報告しました、10の分野のボランティアの活動がございまして、その中で約150名の方に御登録いただき、様々活動いただきながら、図書館サービスに御協力いただいているところです。4につきましては図書備品、これは図書館の基本的なサービスを提供するために必要な資料、本、又は視聴覚資料を、選定購入をしています。5番目のところにつくば市域図書館連携協議会とありますが、これは一昨年、筑波大学附属図書館とつくば市立中央図書館が連携を

結ぶことができました。その連携協定を軸にしまして、実際にそれでは両館で
どういったことをやっていこうかという活動の協議などもしまして、その協議
会を年に1回ないし2回程度、開催して話し合いを進めています。こちらの方
は、実際にこの協議が、実を結んだ事例もありまして、今年度事業の中でまた
御説明をさせていただきたいと思います。目標に対する成果ですが、やはり、
コロナの感染状況がございいますので、今後、いろいろ事業が中止となりました
けども様々な工夫をしながら、実施しました。また、これは例年の課題ですが、
広報活動、特にコロナに関する対応が刻一刻と変化する中で、いかにお伝えで
きるか、今回、課題としてあらわになったところがありますので、先ほどのヨ
モッカをベースに、広報活動を充実させていくべきと考えております。その他
図書館懇話会からの提言書が一昨年、提出されていますので、そういったとこ
ろの内容についても、実現可能性を含めて検討を行っていくということです。
続きまして2ページのオンライン地域交流センター図書室運営に要する事業で
す。こちらは市内の交流センターに図書室がありますが、そのうち谷田部、筑
波、小野川、荃崎、こちらの4館については、交流センター図書室を中央図書
館とのオンライン化により、いわゆる分館的サービスを提供する図書室として
運営をしています。運営にあたり、実際のカウンター等のサービスを行う職員
は、中央図書館で委託契約して、必ず司書資格を有する職員がカウンターには
常時配置するというような条件のもとで、委託をしております。また資料の購
入は、中央図書館の司書が行っております。司書による資料選定委員会がござ
いまして、各交流センターには、やはりそれぞれ特徴があり、利用者層である
とか、利用の状況そういったものを随時、中央図書館と共有しながら、資料の
選定、購入にあたっている状況です。また、交流センター図書室についても臨
時休室というのが、54日と多かったことがございます。これは中央図書館より
どうして多いかと言いますと、交流センターの休館の基準がありまして、昨日
大井川知事の方からも発表がありましたが、8月6日から県独自の緊急事態宣

言に入り、同様の対応が、1月の18日から、県独自の緊急事態宣言が発令されて、つくば市の交流センターについては緊急事態宣言、県独自の緊急事態宣言発令というのは、県のコロナネクストという、ステージで、ステージが4に上がった段階で全館休館と、その全館休館に伴い、図書室の方も休室で中央図書館よりも休室の日数が多くなっております。ただ、この休室の間中も、すべての業務を停止するのではなくて、もちろん返却につきましては返却のブックポストを設置しております。また、貸出しにつきましては、一般の書架から選んで貸出しをするというのは、館内の立ち入りを中止しておりましたので、できませんでした。以前から貸し出しの予約をしていた方がご用意できるわけですが、そちらについては、予約図書の貸出しについてはこの休室の間中も、行った実績がございます。以上二つの事業につきまして、中央図書館からの報告でございます。よろしくお願いいたします。

○議長

ありがとうございました。それでは引き続き文化芸術課、御説明願います。

○文化芸術課係長

文化芸術課です。3ページの資料をご覧ください。事業名「地域交流センター講座」でございます。事業概要といたしましては、市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため、市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月前期講座と9月後期講座に受講生を募集するものです。今年度の事業実績は、例年5月、9月と行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特に4、5月に緊急事態宣言が発令されたので、前期講座を中止しました。高齢者学級に関してもやはり高齢者の感染拡大防止の観点で中止としました。後期講座、9月に関しては、感染の状況を見まして一か月遅らせ、10月の広報つくばで募集し20講座を実施するということになりました。

た。内容は一般向け 15 講座、小中学生向け 2 講座、高齢者向けが 2 講座、親子向けが 1 講座でした。平日日中の参加が難しい方にも対応するために、夜間に 4 講座、土日祝日に 6 講座を実施しました。文化芸術課主催の地域コーディネーター講習会を 3 月に開催しました。目標に対しての成果は、延べ受講者数が 493 名となり、やはり新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、前期講座の中止や、高齢者学級を中止した影響を受けました。例年であれば 120 講座ほど、実施できたところが 20 講座ということで、激減したようなところがあります。課題への対策としまして、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、受講者数を指標とした目標の達成が困難となっています。開催見送りとなった講座がいくつか発生していて、アンケートにより今後利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていくことを検討して参ります。続きまして 1 枚めくり、4 ページをご覧ください。

事業名「生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理」です。つくば市下岩崎にあります、つくば市ふれあいプラザを管理していきまして、事業の概要としては、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため、指定管理者制度により、つくば市ふれあいプラザの維持管理を行っています。また生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の受講に即した自主事業の開催やイベントを実施しています。事業実績ですが、利用者は、総利用者数 2 万 7738 人。うち免除者数は高齢者の方ですが、免除率 55% と高くなっています。自主講座は、講座セミナー等ですが、講座開講実績として幅広く行っていきまして、プール、パソコン、外国語、料理、運動、音楽、芸術など、また、親子で参加できるパソコン教室や料理教室、水泳教室などを行い、文化伝承というところで、歴史を学ぶもの、コケ玉づくりなど多種多様です。308 講座開講しました。308 講座、934 回開講しまして、参加者総数は 5854 名です。イベントの方も 3 回開催し、参加者は 567 名です。アンケートの方も実施していきまして、管理は行き届いているか、利用しやすいか、職員の対応、いずれも満足と答える方を 80% 以上超えているような状況

です。目標に対しての成果として、利用者数は、2万7738名で、新型コロナウイルス感染症の影響によるものですが、やはり感染拡大防止のため、施設を休館したこともありますし、一旦申し込んでも新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念され、参加を控えるということに関しては、還付をしたり、そういった部分では人数が激減しています。課題への対策としましてこちらの施設は、開館から10年以上と書いてありますが、16年前に建った施設です。現場からの報告後現地確認を経て、経年劣化による修繕を適宜行っており、今年も行う予定です。利用者がより安全に快適に過ごし、そこで、生涯学習活動に打ち込める場を提供して参りたいと思っています。また、利用料免除による利用の増加がありますが、収入に結びつくよう、多様な自主講座ということで、若い方向けの講座も企画し、利用の促進を図っていきたいと考えております。

○文化芸術課主任

続きまして5ページの市民文化祭の御説明をいたします。市民文化祭ですが、事業概要をご覧ください。文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と、世代間の交流促進を目的とし実施されています。昨年度の予定では11月の7日の土曜日と8日の日曜日に開催予定でした。また、ノバホール音楽会については、翌週の14日の土曜日も含めて実施する予定でした。会場は、資料に記載の会場で例年実施しています。開催部門についても資料をご覧くださいと思います。昨年度の事業実績についてですが、昨年6月に市民文化祭の実行委員会会議を開催し、昨年度新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を考慮し、協議の結果、残念ながら市民文化祭は中止となりました。代わりにインターネット上で市民の方々の発表の機会を提供するため、資料に記載の2事業を実施いたしました。まず一つは、ノバホール音楽会の無観客公演を実施してその様子を録画し、ユーチューブで配信しました。また、インスタグラムというソーシャルネットワークサービスを利用

用しまして、市民団体の皆様の活動写真や動画などを配信しました。こちらの目標に対する成果ですが、こちらは当初の予定通り開催ができませんでしたが、代わりにオンラインでの事業を実施することで、これまでなかなか実施できなかったインターネット上での発表に着手できたということが成果として挙げられます。また今年度についても、感染症対策を行った上での開催様式の検討を引き続き行い、併せて若い方が、市民文化祭に参加しやすくするために、インターネットでの申請によって申込方法の簡略化などを検討して参ります。以上です。

○議長

ありがとうございました。それでは引き続きまして、スポーツ振興課関係、御説明願います。

○スポーツ振興課課長

スポーツ振興課です。スポーツ振興課資料の6ページから8ページとなりますが、説明前に資料の訂正を一部お願いしたいと思います。6ページのスポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員事業の予算額が、8,333千円となっておりますけれども、正しくは4,618千円となります。申し訳ございません。訂正のほどよろしくお願ひいたします。それでは資料に沿って順次説明させていただきます。6ページのスポーツ推進委員スポーツ推進審議会委員事業については、概要については、資料に記載のとおりでございます。特に実績でございますけれども、まずスポーツ推進委員事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた研修会やスポーツ大会、イベントがすべて中止となったため、残念ながら活動する機会がございました。特に昨年度は本来であれば関東スポーツ推進員研究大会がつくば市で行われる予定だったのでございますけれども、こちらの大会も中止となってしまいました。また、スポーツ推進審

議会においては、審議会を開催して、市で行っていますスポーツ推進事業の取り組み状況や成果に対して、各委員から助言等を頂戴し、次年度への事業実施へ反映することができました。続きまして7ページ、スポーツ大会の開催についてです。概要については割愛させていただきます。事業実績としまして、やはり新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた大会及びスポーツイベントは残念ながらこちらもすべて中止となりました。なお、つくばマラソンについては、マラソン実行委員会において今年度大会に向けた会場のレイアウトや、開催規模、募集範囲、また、新型コロナウイルス感染対策等の検討を行いました。さらに、マラソンコースの公認の期間が切れてしまいましたので、コースの公認取得や今後の大会PRに活用するための大会ロゴタイトルのデザイン募集なども行っております。最後に8ページのスポーツ教室開催事業でございます。こちらの事業の実績としては、こちらもやはり新型コロナウイルス感染症の影響により、当初、12教室ほどを実施する予定でございましたけれども、残念ながら7教室を中止としました。しかし、体幹トレーニングなど5教室を開催し、コロナ禍においてもできる限り市民がスポーツに触れる機会の提供に努めたところですので、非常に簡単ではございますが説明は以上でございます。

○議長

ありがとうございました。それでは今までのところについて質疑に入りたいと思います。まず、最初に事前に資料をお配りしたときに質問シートにつきまして、委員さんから出ておりますので、そのことについてまず御回答願います。

○中央図書館長

委員から事前に御質問いただいた件でございます。

質問につきましては、資料1の1ページ事業実績5についてですが、つくば市域に所在する図書館は筑波大のほかどこがあるのですか。という点。もう1

点が、また連携協議会では具体的にどのような内容が提案されたのでしょうかという、この二つ御質問いただいておりますので、そちらについてお答えさせていただきますと思います。まず一つ目の質問。筑波大学のほかにこのつくば市域所在する図書館どこがあるのですかという御質問ですが、まず学校としまして筑波大学、筑波大学の中にも四つのつくばエリアには四つの図書館がございます。その他、私立で筑波学院大学さんの図書館もございます。また、筑波技術大学さんの図書室もございます。こういったところ、例えば、つくば駅から降りて歩いていくと一番先に手前に、うちのつくば市立中央図書館がある。少し歩くと、学院大学の図書館がある。またさらに行くと、筑波大学の春日エリアのいわゆる旧図書館情報大学の図書館があるということで、エリアに点在している。こういったところですね、面的な繋がりももちろんでございますが、連携という形がとれば、より一層このエリアを、図書館の充実した地区に変えられるのではないかとというようなところから、そういったところも想定しております。二つ目の御質問で、連携協議会で具体的にどのような内容が提案されたのでしょうかということでございますが、大きくありますのがすでに実施したものとしましては、一昨年11月に実施しておりますライブラリーピクニックという事業を、筑波大学図書館とともに共催をしております。これにつきましては、私どもの図書館で持っています自動車図書館、こちらを活用いたしまして、屋外で図書をベースとしまして、コーヒーを飲みながら、或いはミュージック、生演奏など、新たなその本の楽しみ方というのを、筑波大学とともに、提案し、実施したということがございます。また、相互貸借といいまして、当館にない資料を他の図書館から取り寄せるというシステムがあります。県内の公共図書館、大学図書館等が加盟しております茨城県の図書館協議会、この中でしたら無料で配送等ができるのですけれども一旦、県立図書館に各所蔵している本を移動させまして、それを希望している図書館に配送するというシステムになりますので、うまくピックアップできたとして、大体2週間ほど期間

がかかってしまうと。例えば、私ども図書館が筑波大学さんにある本をお借りしたいというときに、その配送システムに乗せますと2週間かかってしまうのですね。ただ、例えば今、貸し出しになっていなくて大学の図書館の書架に並んでいるという本をお借りしたいときに、わざわざ2週間かける必要は全くないと思います。車で、10分ぐらいで行ける場所ですので、その相互貸借については直接のやりとりをさせていただけないかというところで、実はこれ今年度の事業の中でも申し上げようと思っていたのですが、今年の6月から実施に至りました。当初は、うちから大学の方をお借りするのがほとんどかなと思っていたのですが、実は蓋を開けたら、大学さんの方から、市立図書館の本を貸して欲しいということで、先日、申し込みがありましてありがたい驚きでした。そういったところで、連携を進めていきます。また、今、大学さんの方で協議していただいているところなのですが、中央図書館のブックポストを大学図書館に置かせていただけないかということで、御要望しております。学生の利用が大変ありがたいことに多いので。ただ、返却についてはちょっと利便性を、また返しに来なくちゃならないというところもありますので、学生にとって学校の中に返せるポイントがあった方が、より、利便性が高まるのではないかと考えておりますので、大学さんの方に現在ブックポストの設置について打診をしているところでございます。以上でございます。

○議長

ありがとうございました。引き続き、第1議案についての生涯学習推進課の説明をしていただきます。

○生涯学習推進課青少年教育係長

青少年の健全育成事業の説明をいたします。事業概要として、つくば市青少年相談員が中心となり青少年の非行防止や、青少年健全育成のための事業を展開

しています。内容として青少年の健全育成に協力する店の登録活動、学校訪問、挨拶、声かけ運動、青少年健全育成の啓発活動を行っています。そのほかに、青少年の健全育成を展開する団体に対し補助金を交付しています。事業実績は、昨年度は青少年相談員の活動として挨拶の声掛けをしまして、目標として約20回上げています。青少年健全育成に協力する店の訪問登録活動A区分の方が101店舗になります。その他広報誌として相談員便りを年1回発行しました。その他新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、まつりつばの啓発活動や、薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加等は、中止しました。ここで、訂正があります。補助金交付事業の、市子供会育成連合会団体ですが、4団体ではなく、3団体になります。その次に目標に対する成果ですが、訪問活動実績店舗の累計店舗が434を訂正させていただき408店舗になります。そのうち、新規登録は7店舗ではなく、4店舗になりますので、訂正をお願いいたします。補助金交付事業ですが、市子供会育成連合会が3団体で、こちらの申請はありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため事業を中止しています。そのほか青少年を育てるつくば市民の会、4団体に補助金を出しています。目標に対して挨拶声かけ運動は、609回実施しています。いつもでしたら市部会団体で、挨拶・声かけ運動をやるところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、各個人で活動する形にしてやっていただいたということになります。訪問活動実績店舗については、先ほど訂正しました、408店舗のうち新規登録が4店舗になっています。成果は、青少年相談員が、青少年への声かけ運動の社会環境浄化活動をはじめとして、諸活動や研修を行ったので効果があったのではないかと考えています。育成事業については以上になります。続きまして、10ページの青少年体験学習の事業を、説明させていただきます。事業概要としまして、青少年の自主的な活動や体験を行い、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、学校外の体験学習を通して社会力を育成するために、事業を推進することとなります。その他、青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の実施や、青少

年の居場所を提供しています。青少年体験学習事業は、2コースの事業を実施しました。7月24日にセミの羽化の観察、8月に小田城跡見学と勾玉作りです。小田城跡は午前、午後2回やって合計で24人の参加をしていただいています。コロナ感染症が無ければ、もっと募集人数を多くしたいところですが、感染症対策のために人数を制限して実施しました。青少年の居場所事業ですが、1,333人利用いただいています。その他地域ふれあいコンサート、竹園高校生の吹奏楽の演奏や竹園高校生の市民、中学生との交流会については新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために中止しました。「この指と一まれ！」事業は、8月12日にキックオフと、説明会を実施しまして、11月7日にドリームフェスタとして実施しています。目標に対しての成果ですが、青少年体験学習事業については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、人数を制限して実施しました。少数でありましたが、参加者が自然や歴史などの体験をすることができたと思っています。「この指と一まれ！」の、事業については、企画者ボランティアの協力を得て、企画を実現させた結果、人と人の繋がりが社会をつくる育成ができたと思っています。課題として、多くの方に体験機会を提供したかったのですが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、残念ながら人数の制限をして事業を行いました。また、事業を行うにあたり、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策を行い、併せて安全対策、熱中症対策等、事前確認の上、安全に実施できるように対策を行いました。体験学習に関しては以上になります。続きまして、11ページの成人の集いの開催事業になります。

こちらの事業概要は、次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催する、市内中学校からの推薦により実行委員会を組織し、企画運営などを主に取り組んでいただきました。令和3年の2021年の1月10日で2回に分けて対象者2782名で行う予定でした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大地域から、新成人の多くは帰省が想定され、参加者家族への感染や、医療体制のさらなる逼迫に繋がる恐れがあることから、中止しました。中止に

に伴い、予定されていた実行委員長や、市長の挨拶を動画で年度末まで配信しました。さらに式典に代わり、新成人の皆様をお祝いするために、1人1万円のつくば市特別成人祝金の支給を行いました。特別成人祝金の対象として2280人、申請者の方が2546人、支給者が2155人となっています。目標に対する成果については、新型コロナ感染症拡大に伴い、成人の集い開催中止を決定したため、目標には達成できませんでした。また、成人の対象者2,780人に対し、つくば市特別成人祝金申請書を送付しまして、申請のあった2,455人に支給しています。課題としまして、式典の動画撮影にあたり、円滑に式典が図れるよう会場の内外において警備を行いました。成人年齢引き下げ後のつくば市成人の集いの対象年齢及び名称について慎重に審議した結果、現行通り20歳の方達を対象として、名称については「つくば市20歳の集い」で実施するよう答申を教育長に提出しています。成人の集いの開催事業について、以上になります。

○生涯学習推進課社会教育係長

生涯学習社会教育係の説明をさせていただきます。資料12ページ、家庭教育支援事業になります。目的といたしましては家庭教育の推進のために社会教育指導員を配置しまして、幼稚園、小中学校での家庭教育学級において親としての資質の向上を図るための事業を実施しました。また、乳幼児期の家庭教育の充実のため、乳児家庭教育学級3か所を運営しましたが、幼児家庭教育学級はこのコロナ禍のため中止とさせていただきました。また社会教育講演会の方はオンライン及びオンデマンドによる開催をしまして、学級の枠を超えた学習機会を設けることができました。小中学校の就学時健診や入学説明会に合わせて、家庭教育セミナーを開催しまして、家庭教育に関する学習機会の拡充を図りました。実績といたしましては家庭教育学級が76学級開級しまして、参加者数は3,418名。家庭教育講演会の開催は、昨年度全2回開催しまして、参加者数が704名。11人の社会教育指導員により、家庭教育学級の運営に助言指導を行い、

家庭教育セミナーは、小学校のみ 18 校開催いたしまして 989 名の参加となりました。目標に対する成果としましては、参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話し合うなど、講師を招いての講演会や学習会を通じて、家庭は教育の原点であることを再確認できたほか、学級運営に関わった学級生(市民)の成長の場に繋がって、社会教育指導員の助言、指導により家庭教育学級の円滑な運営が行うことができました。昨年度の課題としましてはやはりコロナ禍中により、対面式の講座がほとんどできなかったということが課題でしたが、対策として密を避け、感染防止対策をとりながらの開催にも限界があるため、新たにパソコン等の機材を導入しまして、撮影した動画を学級生に配信することにより、学びの機会を提供することができました。続きまして 13 ページ。花と緑の環境美化コンクールになります。

こちら目的といたしまして市民の環境に対する意識を高めるため、チャレンジいばらき県民運動が主催する花と緑の環境美化コンクールの、参加団体を学校、地域、職場から募集して市から県民運動に、花壇の推薦をしました。

実績といたしましては、学校の部が 4 団体、地域の部が 11 団体、団体職場の部は 4 団体、フラワーロード部が 2 団体の合計 21 団体の応募がございました。

市審査の結果が 6 団体となっているのですが、5 団体に訂正をお願いいたします。5 団体をチャレンジいばらき県民運動に推定しまして、応募団体に対しましては、花の苗や、肥料などの購入の助成をしました。推薦団体は、フラワーロードの部が、つくば市豊里の杜自治会、おもてなし花壇の部が、倉掛「四季花通り」、団体職場の部が、とよもりボランティアと浅野物産株式会社、学校の部は、つくば市立筑波幼稚園を推薦しました。当初、目標は 13 団体だったのですけれども、実際の応募は、21 団体ありまして、参加団体に対する周知活動の結果として、昨年度よりもかなりの応募者数がありまして、地域活動の活性を図ることができたのかなということになりました。

続きまして 14 ページ。生涯学習施設管理になります。目的といたしましては生

涯学習社会の実現に寄与するため、つくば市民研修センターの指定管理及び、協働に対する理解伝統他の継承を目的といたしまして、さくら民家園の維持管理を行っております。事業の実績としまして、市民研修センターは、昨年度やはり、コロナ禍のため、桜まつりや、理科実験、怖い話を聞く夕べなど各種行事はすべて中止とさせていただきました。さくら民間園でも感染拡大防止対策を施した上で短期間でありますけれども、ひな祭りの展示等を行いました。目標としましては利用者数、市民研修センターは3万5000人、さくら民家園では7,000人となっているのですけれども、こちらもやはり新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発令され休館を余儀なくされた部分が影響し、利用者数は市民研修センター1万2888人。さくら民家園は4,780人と、目標は下回っています。課題としては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を、今後も徹底して行う必要があります。両施設とも、「いばらきあまびえちゃん」登録の利用と、利用者名簿の提出をお願いして、利用者側にも安全に配慮していただくようお願いすることを対策といたします。以上でございます。

○議長

ありがとうございました。それでは第1議案につきまして皆様方から質疑応答していただきたいと思いますが、何か御質問ございますか。

○委員

2点質問させていただきたいのですけれども、文化芸術課さんに二つ質問させていただきます。一つ目は地域交流センター講座の件なのですけれども、実は私もコーチングの4回講座申し込んだのですが、途中でコロナの影響で、3回目で中止になってしまったのですね。その時に切手で、切手を貼った郵送便が来て残りの1回分300円をお返ししたいので、銀行口座を教えてくださいというお手紙を御丁寧にいただいたのですけれども、とても気になったのは300円を返

してくださるために切手を貼って、口座に振り込むというお手間をかけていただいたのですが、このコロナで講座中止になったおかげで、幾らか、かなりマイナスの出費だったのかなあというのがとつてもちょっとその300円私、いただいたのですけれども、気になったのですけれども、そのあたりはどれくらいお手元出費がかかったのかなっていうのをお聞きしたいことが1点とそれからもう一つは、市民文化祭の件なのですが、今年度の目標が二、三十代の子育て世代を目標ということで、オンラインはとつてもいいなと思うのですけれども、私の印象から言うと文化祭は結構シニアの方や、近隣の高齢者の方の発表の場っていう側面もあると思うのですが、視聴回数3万件を超えているのですけれども、御覧になった方の年齢層の分布などはわかるのでしょうか。高齢者の方って、このオンラインの配信をどれくらい御覧になったのかなっていうのが今後まつりつくばの配信もあると伺っているので、とても気になるのかなのですが、そのあたりのデータがあれば教えてください。以上2点に関しての質問です。

○文化芸術課係長

文化芸術課です。

地域交流センター講座の還付の件に関しまして、まず御説明させていただきます。やはり感染拡大防止のため、中止としまして、講座に関しては例えば4回の講座であれば、実施回数分のお金はいただくのですが、残りの実施できなかった回数分は、返金させていただくという形になっておりまして、これが手続き上の問題なのですが、ちょっと現場に来て現金でやりとりすることができないものですから、コロナ対策ということもございますので、郵送で手続きを取っていただいて、御返送いただくというところで、もちろん中には窓口まで、丁寧に持ってきて、返してくださる方もいらっしゃりはしたのですが、正確な額を申し上げることはできないのですが、10万円程度かかっていることは事実

でございます。

○委員

そうなのですね、ありがとうございました。お手数でしたね。

○文化芸術課主任

続きまして市民文化祭の件について回答させていただきます。

視聴者層というところなのですけれども、正確なデータが手元がないので不明ですが、インスタグラムの方の投稿に関して言えば、若い方だけではなくて、例えば60代以上の方もご自身で動画を撮影・投稿される方も多く見受けられました。インターネット環境に不慣れで、ユーチューブやインスタグラムを見られないという方もいらっしゃると思いますが、その中でも新しいことに挑戦してみたいという方が一定数いらっしゃるという印象です。

○委員

動画配信の件で例えば、密にならない程度に団体の方を集めて見せるようなことは今後ないのでしょうか。私の知っているお年寄りの方とか全然見られないって言っていたので、公民館などで密を避けて画面で見せてくれたらいいなどは言っていました。

○文化芸術課主任

具体的な構想は今のところありません。ただ、今年も実施が難しいと思いますので、引き続きオンラインで皆様の作品などを発表する場を提供していきたいと考えています。

○委員

ありがとうございました。

○議長

他にございますか。

○委員

青少年教育係の成人の集いに関してですが、開催が中止になったためにつくば市特別成人祝い金申請書等を送付し、申請のあった2,455人に支給したと。いずれにしても約12%位が申請してないってことですね。なぜこれ申請しなかったのか、これはそのまま終わっているのか。1人1万円の支給、これは本人が申請しないのだからそれっきりということなのではないでしょうか。約10人に1人以上が申請してないということで、そんなに貰わない人もいるのかなという疑問がありました。

○生涯学習推進課長補佐

昨年3月にこの場の社会教育委員会議でお話しさせていただきました、成人特別成人祝金について、プレスリリースをさせていただきました、実行委員長さんをはじめ、皆様に周知を図りました。資料にありますとおり、対象者は2,782名なのですが、申請者は2,456名からいただきまして、内1名だけは事情がありまして辞退をしています。よって申請者の中で支給した率は良いと思われまます。対象者の方で、300名程申請が無かったということが気になるということですが、他市町村の方でも重複して該当しているなど、個々に事情がありまして問い合わせも数件ありました。つくば市は1人1万円の給付金で少ないかもしれませんが、他市町村では2万円などもございます。他市町村と重複している、問い合わせでもお答えさせていただいていますが、本人の選択権がありますので、つくば市は、申請は問題ありませんということでお答えしており、そ

のような事情もありまして、人数に影響しているところもあるのかなと事務局の方では考えています。以上です。

○議長

よろしいでしょうか。他にございますか。

○委員

中央図書館さんにお伺いしたいのですが、ぬいぐるみのお泊まり会というのはどういうことなのかっていうことと、もう一つは、図書館に来館することが難しい方へ、図書館サービスを提供することができたとありましたけど、どんなふう提供したのかなと思います。よろしくをお願いします。

○議長

はい。はいどうぞ。

○中央図書館館長

まず1点目ぬいぐるみお泊まり会ですが、これは小学生対象に募集しまして、子供たちが日頃大事にしているぬいぐるみが、図書館に一泊するという設定になっております。ぬいぐるみが、お子様ご主人様のために図書館でご主人様の好みの本を探してくる。それで翌日、持ち主のお子さんが来た時にお渡しするというような設定でやらせていただいております。正確な数字はないのですが、ちょっと手元に今持ち合わせていないのですが、昨年、人数も限定していますので、毎年抽選になりまして、昨年も5、6倍程度の応募があり、やむなくその人数を限定させていただいたということがございました。例年ですと、お泊まり会をやる時に、その子供たちが1日目にぬいぐるみを持ってきた時に、おはなし会をやっているのですが、昨年度は、中止をさせていただいて、あ

くまでもぬいぐるみがお泊まりをして、本を選んで、翌日お子さんにお渡しするというような内容でやらせていただいております。もう 1 点、来館することが難しい方への図書館サービスというところですが、図書館法に定める図書館というのは中央図書館しかないのですね。駐車場の問題等もあります。交通の問題もあります。そのため、なかなか図書館に足を伸ばすことができない方もいらっしゃると思います。そういった方のために、自動車図書館を 2 台所有しております。市内 48 か所のステーションを 2 週間に 1 度の頻度でございますが、地域、地方にお伺いして貸し出しサービスをしています。特に、昨年度の臨時休館もありましたが、コロナによって来館を控えている方が一時期、前年比較して、半分以下ぐらいに落ちてしまった月もありましたが、逆に移動図書館は昨年と一昨年を比べますと、8月の時に前年度を上回る利用がありました。これはコロナが影響しているとは思いますが、改めてその移動図書館の良さというものも市民の方に御認識いただきながら、だんだん浸透してきたかな、というところも肌で感じておりますので、そういったところでこの来館が難しい方への図書館サービスをわずかではありますが、少しずつそのサービスが拡大しているかなというふうに考えております。移動図書館という掲載が無かつたことですね。失礼いたしました。また、なかなか利用はないのですが、実は郵送で中央図書館の本を取り寄せることも、御家庭に取り寄せすることもできます。ただ、郵送になりますのでその郵送実費につきましては、利用者の方に御負担をいただくということで、なかなか実際の利用はないのですが、そういったサービスはもう 20 年以上前からさせていただいているところでございます。以上です。

○議長

はい。よろしいですか。第 1 議案すべてについて御了解いただけますでしょうか。

《拍手》

よろしいですか。ありがとうございます。それでは第1議案についてはすべて承認されました。それでは引き続きまして、令和3年度主要事業の概要についての説明を順次願います。これにつきましては、スポーツ振興課までで、そこで一旦閉めますので、次はそこまでは引き続き御説明願います。それと事務局の皆さん方お願いしますけど説明がね、一生懸命丁寧にやってらっしゃるので、ありがたいのですが、もう少し簡潔に御説明いただければありがたいなと思っております。よろしく願います。

○中央図書館館長

中央図書館から御説明いたします。

お手元の資料2の1ページ、2ページが中央図書館となります。まず1ページ図書館運営に要する事業のところですが、今年度も引き続きコロナ対策をとりながら、お客様に安心して御利用いただけるように努めて参りたいと考えています。例年の事業を継続というものがございますが、今年度の目標のところを御覧ください。先ほどもお話しました、自動車図書館の運行の事業の充実というところと、これから図書館のあり方についての検討、そして返却ポイントの増設などを今年度図書館の目標としてあげています。まず、図書館事業の積極的なPR等については、先ほどのヨモッカも含めまして、各種媒体をもっと活用して、例年の課題ですけれどもさらに強化していきたいと考えております。そして、これからの図書館のあり方についての検討、これは先ほど申し上げました一昨年いただいた提言書の中にいくつかの大変ありがたい御提案がありました。そのうちの一つ、何とか実現する運びとなり、内容としてはその下のところにあります、新たな移動図書館車両の導入が、予算をいただくことができましたので、今年度1,300万円を予定しておりますが、自動車図書館3台目を購入する予定でいます。ただ、現行の車両は3.5トン車をベースにしており、3,500冊

積載している車両になりますが、今回、車両を1.5tベース、4WDの車両をベースにしようと考えています。といいますのは、車両を小さくすることによって、これまでなかなか道が狭隘だったり、例えば筑波山、山を登るのがちょっと苦しかった現行車両ですけれども、そういったところも訪問できるように、四駆でさらに小さいサイズのもので、運行をしていきたいと考えております。もう契約の方は進んではいるのですけれども、工場の方も大分、移動図書館が見直されてきたこともあるかもしれないですが、何か例年より混んでいるようで、今年度の末ぐらいの納車になってしまう可能性がございます。本格稼働としましては来年4月から本格的にステーションを増やして、サービスを提供していきたいと考えています。また、返却ポイントの増設というところで、先ほど筑波大学のお話をしましたが、今年度は、島名交流センターにブックポストを置きまして、返却できるポイントを増やそうかと考えています。貸し出しポイントを増やすことはもちろんですが、返却できるポイントを増やすことも、サービスの向上に繋がると考えていますので、そういったところに取り組んでいきたいと思っております。また最後に、今、筑波大との連携ということもありますけれども、こちらは2者間で順次進めて参りますが、本日出席させていただいている関係各課、こちらとも、もっともっと連携を庁内で連携を図りまして、やはりこのつくば市の社会教育、生涯学習推進体制というものを、もっともっと連携して、そして図書館がもっともっと果たせる役割というのがあるのではないかと考えていますので、さらに加速させていきたいと考えています。次にオンライン地域交流センター、4交流センターについては、先ほど御説明させていただいた内容を継続する形になります。ただ、懇話会の方からも御提言いただいた中に、つくば市の西の地域、旧豊里町、大穂町、そういったところの図書館サービスのポイントが足りないよというところも弱点として御指摘をいただいているところですので、そこに何とか図書館のサービスができるようなポイントを作っていけないかということで、これは引き続きの数年スパンでの検討

になるかと思うのですが、そういったところも調査研究を進めていきたいと考えています。中央図書館からの説明は以上です

○議長

ありがとうございました。引き続き文化技術課、御説明願います。

○文化芸術課主任

3ページのつくば市民文化祭の御説明をいたします。

目的・概要の最初のところに、8月2日に実施予定の実行委員会で詳細内容決定とあり、過日、実行委員会を実施しましたが、まだ具体的な方針は現在のところ決まっていません。ただ、委員の皆様からは、開催について不安の声を多数いただきまして、昨日の茨城県知事の会見の内容を受けて改めて再検討し、今月中に実施もしくは中止の判断をする予定です。先ほども質問があった際に御説明させていただきましたが、中止になる場合は、オンラインでの活動を今年度も引き続き実施して参りたいと考えています。以上です。

○文化芸術課係長

続きまして文化芸術課での4ページの方を御覧ください。地域交流センター講座について御説明します。目的概要は、市民に学習機会を提供し生涯学習社会の実現に寄与するため、市内17交流センターで自主企画の講座を開講して参ります。今年度の目標としましては、延べ受講者数1100名を目指しています。事業の課題としては、定員に満たなく開催見送りとなった講座がありましたので、アンケート等により、利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要があるという課題を認識していますので対応して参りたいと思います。続きまして5ページをご覧ください。生涯学習施設ふれあいプラザ管理でございます。目的概要なのですが、豊かな生涯学習社会の実現に寄与する

ため、つくば市ふれあいプラザの維持管理を行って参ります。利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施して参ります。今年度の目標は、ふれあいプラザ利用者数2万5000人を目指しています。事業の課題としまして、開館から10年以上、16年実際はたっておりますので、修繕箇所が増えているため計画的に改修を行い、生涯学習の社会実現に寄与するため安全な環境で学んでいただけるように、取り組んで参りたいと思っています。以上でございます。

○議長

はい。ありがとうございました。それでは続きまして、スポーツ振興課、御説明願います。

○スポーツ振興課課長

令和3年度の主要事業につきまして資料6ページから8ページがスポーツ振興課担当の該当事業になります。事業全体としまして、昨年度の経験を踏まえまして、すでに4か月今年度になってから経っていますが、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底してできるだけ実施できるよう努めているところでございます。しかしながら、特に大規模な大会やイベント開催は非常に困難な状況でございます。5月に開催予定でした、つくばウォークラリー大会は参加者募集もかけたのですが、残念ながらちょうどその時期につくば市が県から感染拡大市町村の指定を受けた時期と重なってしまい、感染リスク等慎重に判断した結果、残念ながら中止とさせていただきます。また、本年度のつくばマラソンについては、先ほども御説明したとおり昨年度から関係機関とも調整を重ね、いろいろな方法によって何とか開催の可能性を検討して参りましたが、こちらも残念ながら昨年度に引き続き、中止することはすでに決定をいたしました。ただし、本年度は代替イベントを開催しようということが実行委員会で決定されております。現在もマラソン実行委員会で内容を検討中ですが、予定としては、オン

ラインマラソンを実施する方向で検討をしているところです。その他、健康マラソン、スポーツフェスティバルと大きな大会やイベントがあるのですが、現在のところは開催に向けて準備を進めているところですけれども、コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、開催、または中止等を検討していきたいと考えております。最後にスポーツ教室についてです。現在感染対策を徹底しながら、実施をしております。7月末現在、テニス教室などすでに四つの教室を開催いたしました。今後もコロナの状況が気になるところでございますけれども、参加者の安心安全、これが第1でございますけれども、できる限り開催できるように検討し、実施していきたいと考えております。簡単ではございますが以上でございます。

○議長

はい、ありがとうございました。それではここで質疑に入ります。1ページの中央図書館管轄のもの、それから8ページのスポーツ振興課担当までを一括審議をしたいと思っておりますので、何か御質問ございましたらどうぞ。

○委員

スポーツ振興課さんにお聞きしたいのですが、つくばマラソン中止ということで、オンラインマラソンというものの、具体的な何かお話をしていただけたいと思います。お願いします。

○スポーツ振興課課長

オンラインマラソン大会ですが、こちらはGPS等によって、自動的に距離や時間を測るようなアプリを利用して実施するものです。オンラインマラソンであれば日本全国どこを走っていただいても結構なので、一同に集まらなくて、アプリで自動的に今何キロ走ったというのがわかるので、例えば、今考えてい

るのは、1 か月ぐらいの期間を設けて、1 日数キロずつ走って最終的に 42.195 キロ走ってもらうなど。いずれにしてもフルマラソンの距離を、それぞれのペースで走っていただいて最終的な距離とかかった時間の合計など集計します。その人のペースに合わせてやっていただくというのが、実は昨年度あたりも結構各地で主流にはなっておりまして、つくば市ではやったことはないのですが、今年度は中止で、できれば来年度、状況により何とかやりたいなと思っているので、つくばマラソンを忘れていただかないためにも、何かつなぎの企画というのも必要ではないかということで、今年はそういう形で何とかやっていければなということで現在、企画検討中でございます。

○議長

よろしいですか、他にございますか。

○委員

昨年度は、コロナですべて主な事業が中止を余儀なくされた中で、オンラインですとか、SNSを活用したりとか、工夫を凝らしながら大変御尽力いただいたなというふうに感じております。今年度同様にコロナが引き続き影響で、様々な事業が中止になったりしていますけれども、そういう中でオンラインとかを使いながら動画配信をしたりとか大変御苦労されていると思うのですが、同時にこれすべての事業についてですけれども、一点要望は、来年度以降コロナの前と同じように戻ることにはできないと思うのですが、対面で集まってこれまでどおりできたからいいじゃないかということではなくて、オンラインを併用したりですとか、或いはSNSなんかを使って様々な広報周知をするとか、コロナ中で使われてきたような技術も使いながら、どういうふうにコロナの後、事業を進めていくのかという辺りも少し念頭に置いて取り組んでいただければ大変ありがたいなというふうに感じております。その上でそれぞれについてち

よっと質問をさせていただきたいというふうに思います。まず中央図書館なのですけれども、まず一つは各交流センターに司書の有資格者を配置して職員を配置しているというお話がありましたけれども、現在中央図書館で、司書の有資格者の方が何名ぐらいいらっしゃるって、わかる範囲で、本当は事前に御質問をということだったのですけれども、ちょっと資料見るのが遅くなってしまって事前にお伝えしていないのでわかる範囲で構わないのですが、何名ぐらいいらっしゃるのか。

○中央図書館長

正職員、そして会計年度任用職員の中に、図書館専門員という職種で勤務していただいております。合計しますと今現在司書資格を有している職員は21名になります。

○委員

そのうちいわゆる会計年度任用職員以外でつくば市のプロパーの正規職員としては何名ぐらい。

○中央図書館館長

はい。12名になります。今12名と申し上げたのは、会計年度による職員の内
の図書館専門員が12名おります。

○委員

この司書の有資格者に限らずですが、図書館の職員の方々が連携しながら何か職員研修というような機会っていうのは、確保されているのかどうかということについて。

○中央図書館長

自主研修というのは、それぞれ時間とか勤務態形がカウンター業務を抱えているので、時間でのシフト制になっているので、なかなか一堂に会するというのは難しい状況もありますが、何とか工夫しながら自主研修をやっております。また、昨年度からコロナということで、例えば茨城県で、図書館協会主催の、研修等がこれまであったのですが、県立図書館に行って受ける研修がほとんどでしたが、これもおかげというところとちょっと言葉を選ばないといけないと思うのですが、コロナ対応でオンラインの研修がほとんど100%近くになりました。従いまして、中央図書館内でオンラインの研修が受けることができるようになりましたので、これまで県立に行くには行けても3人ぐらい、それが、昨年度のある研修ですと、2日間にわたったのですが、同じ研修を9名受けることができました。そういったところで、オンラインというものを随分活用しますと、研修の機会というのが以前よりは増え、それに対応できるようになったというのが実情でございます。

○委員

はい。ありがとうございます。それとの関連で3台目のBMを導入されるということで、かつて移動図書館というのはただ本を配っていくというだけではなく、地域の拠点を移動していくという役割で、例えば映画の上映会であったり、講演会を一緒にやったり、或いは読み聞かせというようなこともかつて歴史的にはあって、今、全国の実践を見ていると例えばカフェ等、カフェは、自分たちはできないのですが、移動式のカフェをやっているところにブックモバイルを持って行って、一緒に読み聞かせをしたり、人が集まる拠点になるような取り組みというのが幾つか見られるわけですが、3台目を導入するにあたって、しかも小型の車ということですので、もう少し機動的にステーションなんかの見直しも含めて図書館を本をサービスしていくという以外に、その

地域の中の何か小さな拠点づくりみたいな取り組みも一緒に進めていけるようになればすごくいいなというふうに個人的には思っているのですが、図書館の職員の方々が、一同に集まることは無理かもしれませんが、研修という形で自主的に集まりながらつくば市内の図書サービスはどうあるべきなのかということ話し合うような機会も作っていただけると、大変人的にも費用的にもかかりますし、或いは時間的な仕事の業務を増やすことにもなるかもしれませんが、そういったところにも少し目配せをいただくと図書館のサービスが無いような地域にもいろんなサービスができるのかなというふうに思っていますので、是非御検討いただければというふうに思います。それともう1点、電子書籍については今どのような形で検討されているのかということをお教えください。

○中央図書館長

研修の機会もこれからいろいろ工夫しながら、さらに進めていきたいと思えます。移動図書館につきましては、例えば今、周辺市街地振興ということをつくば市も取り組んでおります。R8、リージョン8、そういったところで、地区でいろいろイベントもごございますので、そういったところに移動図書館を呼んでいただいたりすると、より周辺市街地の振興の中で、移動図書館が行くので、さらに、図書館サービスが周辺部まで及ぶというところも連携していければと考えています。今、具体的な計画はございませんが、そのようなところも視野に入れていきたいと思えます。電子図書館の話がありましたが、これもコロナ関係で昨年度から取り扱いしている事業者さん聞くと、3倍から4倍ぐらいまで売り上げが増えたという話も聞いております。当然、私共の方にも市民の方からの御要望もたくさんございます。その中で、令和4年度、来年の10月に図書館情報システムの入れ替えを予定しております。要は5年リースの期間が切れるので、次のシステムの検討に入っているところです。その中で、そのタ

イミングで電子図書館が導入できないかの今検討を開始したところです。順当に行けば、来年 10 月から導入していきたいと考えて今検討しているところです。

○委員

はい、ありがとうございます。

文化芸術課の方、事業について少し御質問させてください。ふれあいプラザだけではないのですけれども、社会教育施設のW i - F i 環境というのは今どのような状況になっているのか。これは担当の部支局が違うのですけれども交流センターも、どれぐらいW i - F i 環境が整っているのかというのは少し気になっているのですが、わかる範囲で教えていただければと思います。

○文化芸術課係長

文化芸術課です。交流センターに関しましては、W i - F i 環境が実はまだ整っていません。要望はお受けしており予算計上を考えているところでして、来年度に向けて 17 交流センターにW i - F i 環境を整えていきたいと思ひます。

○委員

様々な講座を開設していただいていますけれども、オンラインでズームとかを使った講座は、今年度予定をされているのかどうかということと、それからSNS、オンラインのアプリの使い方とか高齢者の方の利用が多い中で、どのようなサポートをするような工夫をされているのかということ、それから、もちろん利用申請とかオンラインで出来るようになるというのはすごく簡単で、そういったことを進めなきゃいけないのですけれども、一方でそういう技術を使える方と使えない方の格差も広がっていくと思うので、その辺りの配慮も必要になると思うのですがどのようにお考えですか。

○文化芸術課係長

講座のオンラインの開催についてですが、W i - F i 環境が整っていないので難しいところですが、高齢者の方にもパソコンの技術を習得していただきたいというところでは、パソコンの講座もふれあいプラザなどで行ってはいるのですが、パソコンよりもまずはスマホです。ガラケーからスマホへ切り換えていかないと、今いろいろな申請はスマホでできたりするものが多いので、スマホ基礎講座みたいな形で、パソコンのインストラクターの先生に来ていただくということが今年ありまして、昨年でいうと P a y P a y が結構コマーシャルもあったので、P a y P a y をスマホをお持ちいただいて使えるような講座も実施していきまして、高齢者向けにも導入部分となるような講座に関しては、今年度も引き続き開催して参ります。

○委員

はい。ありがとうございました。その辺りも念頭に様々な講座を企画して行っていただきたいと思っております。スポーツ振興課のつくばマラソンについてなのですけれども、テレビのマラソン中継を見ると走るだけではなくてその周辺の環境の紹介ですとか、筑波の見どころですとか、或いはそのコースの紹介があったりするのですが、開催中止の期間を利用しながらコースも毎年、多少変更があると思うのですけれども、せっかく多くの方がつくばに来てつくばの街を走る機会を利用しながら、もう少しつくばのアピールになるような取り組みは何か検討されていますでしょうか。

○スポーツ振興課課長

はい。ありがとうございます。先ほどのオンラインマラソンのところで、実は併せて動画配信もできないかということで、まだ決定ではないですが検討して

います。その中で、先ほど言ったように、そもそもオンラインマラソンとは何なのかというようなところとか、つくばマラソンのテーマは、マラソンを科学するというのがテーマになっています。そういった意味で、技術的なところは筑波大学様に、御監修をいただいた動画も配信する予定で検討をしています。もう一つ実は一昨年つくば市のランニングマップを作って、つくば市内9箇所にランニングコースを設定しております。9つのコースの中には市の見どころも載せてございますので、できれば併せて動画配信をしてつくば市のランニング環境のポテンシャルも全国にお見せできればということは現在検討しているところですが、現実のお話として、予算関係もあるものですから、その辺とにらめっこしながらできる限り、今、委員のおっしゃられたようなことも、念頭に置きながら取り組んでいくように検討していきたいと思っております。ありがとうございます。

○委員

はい、ありがとうございます。費用もお金もかかることなので、無い物ねだりはあまりできないかと思えますけれど、様々工夫をして運営していただければと思います。ありがとうございました。

○議長

はい。よろしいですか。他にございますか。

それでは、お諮りいたします。1ページの中央図書館の所管のもの、それから文化芸術課所管のもの、それからスポーツ振興課のもの、この内事業について、御承認をいただけますでしょうか。

《拍手》

よろしいですか。ありがとうございます。それではすべて御承認をいただいた、今のところにつきまして、承認されたということで引き続き会議に入ります。

生涯学習推進課担当の事業について、順次説明願います。

○生涯学習推進課青少年教育係長

生涯学習推進課の事業の説明をさせていただきます。青少年育成事業でございます。青少年育成事業に関しまして、新型コロナ感染拡大対策を行いながら、青少年の相談が中心となり健全育成の事業を展開していきたいと思っております。もちろん協力団体の方も連携するという形になります。以上になります。

10 ページの青少年対学習事業になります。こちらなのですが、青少年を中心として地域の交流とか、多世代の交流を実施していきたいと思っております。

もちろん、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各関係団体と連携しながら事業を同じように進めていきたいと思っております。以上です。11 ページです。つくば市成人の集いに関して、こちらの方は各市内の、各中学校、卒業中学校から卒業生の方の推薦をいただきまして、実行委員会をこれから行う予定でございます。この間、何回か行いながら、令和4年（2022年）1月9日、日曜日の1月10日、2回、2日間に渡りまして2日間、午前、午後4回に分けて開催していきたいと思っております。以上です。

○生涯学習推進課社会教育係長

続きまして社会教育係 12 ページになります。家庭教育支援事業ということで、今年度も引き続き幼稚園、小学校中学校、あとは乳児、幼児、保育所などの家庭教育学級の支援をしていくということで、今年度も引き続きコロナウイルス感染対策で、オンライン、動画配信といったようなものを使いながら家庭教育の支援を行っていきます。続きまして 13 ページになります。花と緑の環境美化コンクールなのですが、県のチャレンジいばらき県民運動より、令和2年度をもって終了するという通知がございましたので、来年度からは別の事業を上げたいと考えております。続きまして 14 ページ。生涯学習施設管理になり

ます。市民研修センター、さくら民家園について、引き続き今年度もコロナ感染症対策を徹底して、施設からは感染者を出さないように安全に利用していただけるように、運営をしていきたいと思っております。以上です。

○議長

ありがとうございました。質疑に入ります。御質問、御意見、ございますか。

○委員

はい。青少年育成事業について、つくば市の子供会育成連合会が、今何団体あるか、もし御存知であれば教えてください。

○生涯学習推進課青少年教育係長

本部含め4団体になっております。地区的には、つくば市全体の方と、桜地区、豊里地区、大穂地区になります。

○委員

この連合会の4団体すべてに補助金は一応交付しているということ。

○生涯学習推進課青少年教育係長

はいそうでございます。

○委員

わかりました。あと挨拶声かけ運動ですけれども、市内の学校との連携について、何かもしありましたら教えていただきたいのですけれども。

○生涯学習推進課課長補佐

先ほどの補足で、子供会育成連合会の方ですが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、今の計画の方はいただいているのですが、全部の団体様にいただいておりますが、4団体の申請をいただいている団体もございます。また挨拶声かけ運動ですが、やはり全体的には活動は難しいのですが、今のところは各支部でできる範囲で、地域、学校に応じて調整しつつ、挨拶声かけ運動をしてくださいということをお願いしております。目標は120回ですけども、ここは昨年も各個人で行っていただいたところもありますので、目標は掲げてもやはり新型コロナウイルス感染状況に応じて行っていただくようにお願いしております。

○委員

はい。今年度はコロナの影響でなかなか活動も自粛する部分が多いのかなとは思いますが、これまではどうだったのか教えていただきたいです。こういう運動するときに市内の学校と連携しながら、何かやっていることがあるかどうかということですね。

○生涯学習推進課課長補佐

挨拶声かけ運動に関しても、各学校毎に、御判断、連携して調整しての話になりますので、11月に行う挨拶声かけ一斉の強調月間が、例年11月の第1週目ぐらいにつくば駅で行っております。そちらも県と育成協会等と連携して行うものです。そちらも、できないところがありまして、各個人、個人になっているところが昨年も実情でした。

○委員

そうですね、これは理想的なことなのかもしれないのですけれども、知らない人に声かけたらいけないよとか、声かけられたら逃げなさいというような指導

もちろん現実大事なのですが、むしろ、みんなが挨拶しながら声をかけていく方が防犯や治安上すごく大事なことのかなと個人的に思っていて、それを活動するのは大事なのですが、それが連携しながら地域全体で取り組みになっていく必要があるのかなというふうに少し感じたものですから質問させていただきました。ありがとうございます。それから社会教育指導員についてお尋ねしたいのですが、家庭教育支援事業の社会教育指導員もおそらく会計年度任用職員という形だと思うのですが、大変重要な役割を果たしてくれていると個人的には思っているのですが、指導員の方々の職員としての研修或いはまとまりというか活動について、それぞれの指導員の方々が何か研鑽を積むような機会というのは何か用意されていますでしょうか。

○生涯学習推進課社会教育係長

社会教育係です。今年度、指導員現在10名ですが、今年度自主研修ということで各指導員2人1組になりまして、隔月、自分で研究成果をまとめたものを交代で発表していくという研修を進めているところでございます。

○委員

はい。わかりました。ありがとうございます。それから、花と緑の環境美化コンクールが、県の方ではコンクールが無くなったということなのですが、地域で花を育てて綺麗に咲かせようという取り組みをしているところに、苗や肥料を一部補填していくというような取り組みは、すごく大事だと思っているので、活動をされている方達に対する花や肥料を提供していく取り組みを継続していくような意思があるのかどうかを教えてください。

○生涯学習推進課社会教育係長

市としては、こちらの県の方の事業の半分お手伝い的な要素がありましたので、

県でやらないということになったので市の方も、今年度以降は事業が無いということですが、ただチャレンジいばらき県民運動では、全部の団体ではないのですが、今後継続して花壇を運営していく団体に対しては助成をしていくということですので、そちらの案内の方は、応募いただいた団体の方に、こちらのチャレンジ茨城に直接お申し込みくださいという御案内をいたしました。

○委員

はい、ありがとうございます。市としても良い取り組みは是非継続してもらいたいと思っています。ありがとうございます。以上です。

○議長

はいどうぞ。

○委員

全体を通して3点ほど、意見というか言わせていただきたいと思います。まず今日の令和3年度主要事業の概要で、委員の方から御意見いただいておりますけれども、すでに令和3年度も今日が8月ですので、5か月も経とうとしているところですよ。もうすでにこの5か月经った段階で、やはり良い意見をいただいてもなかなか途中で事業を変えていくというのは小規模な変更でも難しい場合もありますので、やはりもうちょっと早い段階で委員の方から御意見をいただくということを、今後考えていただいた方がいいと思いました。本当は予算を決める前というのが理想で、その段階で御意見いただいて予算も反映させていくというのが理想だと思うのですが、その辺もあわせ今後考えていただけたらと思います。今年度の目標でそれぞれの事業を大変一生懸命やっただいてるので、目標数値をやっぱり目標なので数字的目標というのは去年度と比較して今年度どうするのかとか、そういう数値目標をやっぱり入っている事

業と入っていない事業がありますけれども、入っていない事業はその数値目標も入れていただくといいと思います。三つ目として、目的が書かれておりますが、目的ではなくその事業の内容で終わっている事業も見受けられます。なぜこの事業をやるのかという目的をできたら担当課だけではなくて、これだけの有識者の方が、いらっしゃっていますので目的をしっかりとここで議論しながら定めていくというのもこの会議のありようではないかと思います。社会教育ということでは、いろいろな課題が今出ていると思います。私たち世代も学校を卒業したらそのまま就職して働いてという形になると、社会に出てから教育を受ける機会がすごく少ないと思います。そういった課題にどう市として取り組んでいくかということ、今日来ていただいた委員さんの御意見をいただきながら、どう今後解決していくのかという議論をできるような時間も是非今後とっていただければと要望したいと思います。

○議長

はい。御意見ということでよろしいですか。ありがとうございます。他にございますか。

○委員

先ほどの御発言で、私も同感の部分の一つございまして、新年度が始まってもう約5か月近いわけですが、予算に関するものもすでに発生していると思うのですね。私は県の方の役員をやっているのですが、大体3月に次年度の予算というのは大体1月2月各市町村、自治体は決まっている場合がほとんどだと思うのですね。そういう予算面も鑑みまして今の段階の開催っていうのは、本当に事業が改善できるのだろうかということは、非常に私は重要な問題で開催時期をちょっと早めにしていただくとたくさんの御意見の中で予算等も絡んでくるものがたくさんあるのではないかというふうに思いますので、皆さん方の御意

見をすくい上げていただけるなら、もう少し早めに行えるような会議の時期を提案させていただきたいと思います。以上でございます。

○議長

御提案ということですが、事務局の方で何か。

○生涯学習推進課課長

貴重な御意見ありがとうございました。会議ですが、今年度2回目の会議の時に、来年度の事業計画についてもある程度取りまとめたものと、予算的なものもお示しできればと思います。1回目の会議を来年度は、春を目指して行いたいと思います。2点目の数値目標なのですが、資料の中に、数字的なものも項目として盛り込んで今後作っていききたいと思います。3番目の目的についてですが、事業の基本となるところに、御意見をいただきたいのが本来のこの委員会の在り方かと思いますので、そこを踏まえて今後取り組んでいきたいと思っています。御意見ありがとうございました。

○委員

家庭教育学級に関してですが、このコロナ禍の中で、家に籠もって子育てをしている保護者がかなり多くなって公園にも出ない、ママ友にも会わないというような話をちょっと聞きました。市としてはこのオンラインや動画配信を実施するという事なのですが、その周知を工夫してもらいたいと思うのです。多分、市報だけだとそういう人に伝わらないと思うのですね。上手くスーパーとか、そういう人達が出ていくようなところに広告を出して、こういった援助をしていますというのを是非ともやって、ちょっと困っているような人を助けてあげてください。意見です。以上です。

○議長

はいどうぞ。

○委員

昨年、社会教育講演会を開催されたということで、我々、市P連の方にも周知をということで連絡をいただいたのですけれども、全体に連絡しようと思ったのですが、市のホームページに出てから締め切りまでの期間が結構短くて、うっかりしたらもう締め切りになっていて、一部の人間しか周知できなかったのですね。先ほどもあったと思うのですが、その周知にもう少し力入れていただけるといいかなと。すごく協力したいという思いはあったのですけれども、ホームページに載ってから締め切りが短いのでうまくできなかったと思うので、もう少し長い期間、市報で発表してさらにホームページに長く出すとか心がけていただけるといいと思いました。

○生涯学習推進課社会教育係長

ありがとうございます。今後、御意見参考にさせていただきます。

○議長

はい。ありがとうございました。

○委員

社会教育委員としての2つの活動を報告させていただきます。1) 竹園高校では、SDGsの理解を深めるための総合的な探究の時間が実施されており、私は「筑波山の自然と歴史・文化を知り温暖化とSDGsを考える」というテーマで1年生を対象に2018年から講義を行っています。今年3月に竹園高校SDGsカルタ制作委員会の生徒によって優しくわかりやすいAからZまで26の絵札

と文字札の英文カルタが完成しました。G : Geopark teaches us about the Earth

(ジオパークは地球について教えてくれる) SDGs. 15. 陸の豊かさを守ろう。

2) 7月23日開催のイオンモールつくば「いばらき SDGs フェスタ」に筑波山地域ジオパーク推進協議会が連携して、筑波山“見たまま”砂絵づくりと筑波山地域“場所”輪投げクイズを36組の親子100人に実施しました。大地の成り立ちとその恵みと災い、温暖化の自然への影響を楽しく学んでもらいました。

○委員

家庭教育支援事業について、質問とお願いのような形になると思うのですが、以前は乳幼児家庭教育学級という形で、ほとんどの交流センターにあって開催されていたので、お家の近くの家庭教育学級乳幼児に参加できていたと思うのですが、今資料を見ますと、乳児が市内3か所、幼児が2か所ということで、どういうふうにこの3か所、どの場所でやっているかも存じ上げないのですが、以前に比べたらかなり少なくなっているかと思うのですが、今後もこの数でやって上手くいっているのか、それともこれから増やしていく可能性があるのか伺いたいです。

○生涯学習推進課社会教育係長

社会教育係です。乳児家庭教育学級市内3か所ということですが、今現在大穂の交流センターと、中心地区で吾妻交流センター、南部でみどりのということで市民ホールやたべでやっております。以前は、乳幼児家庭教育学級でやっていたのですが、乳児は乳児、幼児は幼児というふうに分けまして、特化した形で行うようにいたしました。数的には今後特に増やすという予定はございません。今現在も特に遠いからという御意見は伺っておりませんので、配置的には今の形でやっっていこうと思っております。幼児学級は、2か所、竹園交流センターとゆかりの森の2か所で行う予定でございます。こちら、幼児と

ということで外遊びを中心とした学習にしたいと思っております、場所的に広くとれるということでこの2か所の方を選定してやっていくということで考えております。

○委員

つくば市民文化祭と地域交流センターの講座で、オンラインがメインになると思いますけれど、先ほどいろいろな方からIT弱者に対してのサポートが必要であるということで、是非ともお願いしたいと思います。新型コロナウイルスワクチン接種の時にも、電話がなかなか繋がらないので市役所にたくさん高齢者の方が訪れました。その方達に対してサポートがなくて、少し経ってから市の職員さんなどいろんな方がサポートしてワクチン接種の申し込みをネット上でしたという経緯もありますので、何か工夫をしていただいて特に高齢者、一人暮らしの方がたくさんいますので、一人暮らしでいると認知症になる可能性もありますので、そういった方々に対しての配慮をぜひともよろしくお願いいたします。以上です。

○議長

要望ってことでございますか。他にございますか。もしよろしければ、今生涯学習推進課所管の9ページから14ページまで、御承認いただくことでよろしいですか。

《拍手》

はい、ありがとうございました。決定させていただきますが、今日も事務局の皆さん方は、非常にいつも委員の皆さんから貴重な御意見、或いは要望をいただいたり、それをベースにしてしっかり事前に準備されておられます。説明するときにも懇切丁寧に、ちょっと説明が長かったかなと思いますが、それだけ一つの誠意が現れたなと思います。そしてまた、委員の皆さん方もここで質問する

しないでだけでなく、質問シート、或いは電話等で一つ事務局の方に連絡していただきまして、会議ではスムーズな形をとっていただけるとありがたいと思っております。貴重な時間をお集まりいただきますから、皆さん方からそれぞれ御発言いただいたりすることは非常によろしいのでございますけども、お互いに理解力を持っていらっしゃる方が多いので、レベルの高い委員会だと私は思っております。これからもますます、良い御意見、御質問等いただきながら、或いはまた提案いただいて、より良い委員会にさせていただければと思っておりますが、私が言う言葉でなくて本当は事務局で言っていただく言葉なのですけども、御了解いただきますが一応今日出されました議題は一応済みました。御協力いただきましてありがとうございます。以上で、今日の私の役割を終わらせていただきますので、マイクを事務局にお返しします。ありがとうございました。

○生涯学習推進課課長

議長ありがとうございました。委員の皆様、今年度も事業の進捗状況などを、お気づきの時点で御指導いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。これで令和3年度の第1回社会教育委員会議を閉会いたします。長時間にわたりましてありがとうございました。

令和3年度（2021年度）第1回つくば市社会教育委員会議

次 第

日時 令和3年（2021年）8月4日（水）

午前10時から11時30分まで

場所 つくば市役所 2階 会議室202

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 挨拶
- 4 議事 (1)令和2年度 事業実績報告
(2)令和3年度 主要事業の概要
- 5 その他
- 6 閉会

【資料】

資料1 令和2年度 事業実績報告

資料2 令和3年度 主要事業の概要

資料3 つくば市社会教育委員条例・つくば市社会教育委員会議運営規則

資料4 つくば市社会教育委員名簿

資料 1

令和 3 年度 (2021 年度)
第 1 回つくば市社会教育委員会議

令和 2 年度 (2020 年度) 事業実績報告

日時 令和 3 年 (2021 年) 8 月 4 日 (水)

午前 10 時から午前 11 時 30 分まで

場所 つくば市役所 2 階 会議室 202

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	中央図書館	係	管理係、サービス係
事業名	図書館運営に要する事業		
予算額	44,237千円	決算額	42,916千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>図書館資料の充実を図り、読書や調べ学習など市民の様々な要望に応えるべく積極的に生涯学習を支援する。</p> <p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験：8年生を対象とした事業 ・ジュニア図書館員：4、5、6年生を対象とした事業 ・学校訪問ブックトーク：小中学校、義務教育学校を訪問し、本を紹介する事業 ・インターンシップの受入：図書館勤務を志す大学生を対象とした事業 ・ファーストブック講座：子育てに絵本を活用するきっかけをつくる事業 ・図書リサイクル：不用になった図書を市内公共施設や市民に還元する事業 ・広報活動：公園通りの図書館通信「ヨモッカ」7,000部（年2回）及び「こどもヨモッカ」7,000部（年2回）の発行 ・ワークショップ「図書館マスターになろう」：図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習のサポート」プログラムに基づくワークショップ <p>2 図書館協議会、図書館ボランティア活動</p> <p>3 図書備品：図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入</p>	事業実績	<p>開館日数 266日 開館時間 9:30~19:00 一部の祝日9:30~17:00 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館29日（4/4~5、4/9~5/10）（6/9~12の特別館内整理は中止し閉館）</p> <p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問ブックトーク（4年生、7年生対象）：小学校19校、中学校4校 ・インターンシップ受入れ：2名受入れ（8月） ・図書リサイクル（不用図書を市民に提供する事業）：10,789冊配布 ・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」8月と2月の年2回、「こどもヨモッカ」7月と12月の年2回発行 ・ぬいぐるみのおとまり会：3月19日 ・World week：11月4日~22日 <p>※以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験（8年生対象） ・ジュニア図書館員（4、5、6年生対象） ・ファーストブック講座 ・ライブラリー・ピクニック ・五術をゲームで遊ぼう ・世界を知るワークショップ ・世界のゲームで遊ぼう <p>2 図書館協議会：2回開催（10月、3月）</p> <p>3 図書館ボランティア活動（150名登録、10分野のボランティアに分かれた活動）</p> <p>4 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入</p> <p>5 つくば市域図書館連携協議会</p> <p>つくば市域に所在する各機関の図書館の情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、連携してその活用を図ることにより、協定館相互のありかたの持続可能な発展と充実に資することを目的として協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協定締結図書館：筑波大学附属図書館、つくば市立中央図書館 ・令和2年度連携協議会開催回数：1回
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・これからの図書館のあり方についての検討 	目標に対する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となったが、実施方法を工夫することなどにより実施できたものにより読書推進及び図書館の利用促進を図ることができた。 ・図書館が実施している各種事業などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進及び、読書活動の推進が図れた。 ・図書館に来館することが難しい方へ図書館サービスを提供することができた。 ・市内各所で図書を返却できるようにすることで、利用者の利便性が向上した。 ・今後の事業の参考とするため、図書館懇話会からの提言書の内容について検討を行った。
事業の課題	<p>図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言書の内容について検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。</p>	課題への対策	<p>図書館懇話会からの提言書については、その内容について検討を進め、将来の図書館のあり方や計画を策定する際に、参考としていく。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	中央図書館	係	管理係、サービス係
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業		
予算額	40,397千円	決算額	40,215千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>オンライン化されている地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することにより、中央図書館と4か所(谷田部・筑波・小野川・葦崎)の交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と市域全体の図書館サービスの向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 ・4交流センター図書室運営業務委託 ・4交流センター図書室図書備品購入 	事業実績	<p>開館日数 241日(谷田部は239日、小野川は240日) 開館時間 平日9:30~19:00 土・日・一部の祝日9:30~17:00 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休室54日(6/9~12の特別室内整理は中止し開室) ※電気設備更新工事のため、9/26・27 谷田部休室 ※選挙(投票所)のため、10/25小野川休室</p> <p>・図書資料の購入を積極的に行い蔵書数の増に努め、委託職員と連携を密にし、地域図書館サービスの向上に努めた。</p>
今年度の目標	<p>中央図書館とオンライン化されている4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。</p>	目標に対する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・交流センター図書室と連携をとり、図書館サービスの向上に努めた。 ・新刊本の購入を増やし、不用図書の除籍を行い、利用しやすい配架に努めた。 ・地域の特色を生かした図書資料の整備が図れた。
事業の課題	<p>平成27年度からオンライン4交流センター図書室運営業務委託を図書館が行い、新しい図書資料を増やしてきた。引き続き、市民がサービスの向上を享受できるよう各交流センター図書室の蔵書の充実を図っていく。</p> <p>また、地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図りサービスの向上を目指す。交流センター図書室によって、資料の老朽化が進んでいたり、利用者が急増していたりと状況が異なるため、資料購入費の配分の方法が課題となる。</p> <p>令和2年度で1年間の運営業務委託契約期間が終了するので、現在の委託業務について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、令和3年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。</p> <p>また、運営業務に必要な人材(司書有資格者)についても、継続して確保していくための検討が必要となる。</p>	課題への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書室の蔵書について、地域の特色をいかしながら、新たな図書資料の受入数を増やし、その充実を図った。 ・各図書室の利用状況に応じた資料購入費の配分を行い、利用者の多い図書室の蔵書の充実を図った。その効果を検証し、今後の資料購入費の配分の方法を検討していく。 ・委託職員との連携を密に図り、サービスの向上に努めた。 ・各図書室の状況把握を行い、受託事業者と随時情報の共有化を図った。

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課	係	地域交流支援係
事業名	地域交流センター講座		
予算額	3,085 千円	決算額	1,637 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため、市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。</p> <p>前期講座は、64講座、定員1,191名で5月に募集し開講中。後期講座は、56講座、定員1,226名で9月に募集する予定。</p> <p>講座の内容は、高齢者・小学生・親子・女性・男性向けなど多岐にわたり企画し、土日、夜間の講座も開講する。</p> <p>また、つくば市消費生活センターや消防署など他部署による普及促進講座も開講する。</p>	事業実績	<p>例年、5月(前期講座)と9月(後期講座)に行ってきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期講座、高齢者学級を中止とした。</p> <p>後期講座については、予定を1か月遅らせ、10月の広報つくばで受講生を募集し、20講座を実施。内訳は、一般向けが15講座、小中学生向けが2講座、高齢者向けが2講座、親子向けが1講座であった。</p> <p>また、平日中間の参加が難しい方にも対応し、夜間に4講座、土日祝日に6講座を実施した。</p> <p>文化芸術課主催の地域コーディネーター講習会を3月に開催した。</p>
今年度の目標	<p>延受講者数：12,350名 (昨年度は128講座実施し、延受講者数7,310名)</p>	目標に対する成果	<p>延受講者数：493名 地域交流センター講座(後期講座のみ実施)：479名 高齢者学級：中止 地域コーディネーター講習会：14名</p>
事業の課題	<p>夜間や土日祝日に開講する講座数が前年度より減少している。また、子供向けの講座等で受講者が集まらず、開催見送りとなった講座がいくつか発生しており、アンケートにより利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。</p>	課題への対策	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受講者数を指標とした目標の達成は困難となっている。開催見送りとなった講座がいくつか発生しており、アンケートにより利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていくことを検討していく。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課	係	地域交流支援係
事業名	生涯学習施設(ふれあいプラザ)管理		
予算額	63,159千円	決算額	62,990千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため、指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。</p> <p>また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。</p>	事業実績	<p>○利用者数(ホール、研修室、会議室、軽運動室等ほか4室、プール、保育室、展示コーナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総利用者数 27,738人 ・うち免除者数15,386人(免除率 55.47%) <p>○自主講座(講座・セミナー等)</p> <p>講座開講実績(通年:プール、パソコン、外国語、料理、運動、音楽、芸術、親子、文化、伝承、その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座数 308講座 ・開講数 934回 ・参加者総数 5,854人 <p>イベント実績</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント数 3回 参加者総数 567人 <p>○アンケートの実施状況(利用者の満足度、苦情等)</p> <p>回答数 442件</p> <p>管理は行き届いているか満足84.9%普通4.2%不満0.9%</p> <p>利用しやすいか 満足83.0%普通15.9%不満1.1%</p> <p>職員への対応 満足85.8%普通13.7%不満</p>
今年度の目標	ふれあいプラザ利用者数 75,000人(昨年度70,003人)	目標に対する成果	ふれあいプラザ利用者数 27,738人(新型コロナウイルス感染症の影響による)
事業の課題	<p>開館から10年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えている。</p> <p>また、利用料免除による利用の増加により、利用者が増加しても施設の収入に結びつかない状態となっている。</p>	課題への対策	<p>現場からの報告、現地確認を経て、経年劣化による修繕箇所を適時修繕を行った。</p> <p>また、利用料免除による利用の増加があるが、収入に結びつくよう多様な自主講座を企画し、利用の促進を図っていく。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課	係	文化振興係
事業名	つくば市民文化祭		
予算額	11,785千円	決算額	843千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流促進を目的としている。</p> <p>○開催期間 11月7日(土)～8日(日) ※ノバホール音楽会は11月8日(日)～14日(土) ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽 など 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンス など 【その他】お茶会・囲碁・将棋・そば打ち など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽 【小中学校芸術展】市内の公立小中学校の推薦作品の展示</p>	事業実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実行委員会での協議を経て市民文化祭は中止となった。文化芸術活動の発表を行う機会を提供するため、人が集まらなくても実施可能な企画として、SNSに写真や動画をアップロードすることで「インターネット文化祭」として実施した。</p> <p>(1) ノバホール音楽会の無観客公演を実施。その様子を録画し、後日アーカイブとしてインターネット上で配信した。 YouTubeアカウントの視聴回数：32,233回</p> <p>(2) SNSのInstagramを利用して、市民団体の活動写真や動画などを配信した。 配信団体数：41団体</p>
今年度の目標	各会場での体験教室を増やし、20～30代の子育て世帯の参加を促進する。	目標に対する成果	オンラインでの開催を行い、発表・鑑賞の機会の提供を行った。
事業の課題	参加者の半数以上が高齢者である。いかに若い世代の参加者を増加させるかが今後の課題となっている。	課題への対策	・感染症対策を行ったうえでの開催様式の検討 ・参加受付様式が紙申請のみであるため、インターネットでの申請様式を検討する。

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ推進係
事業名	スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員		
予算額	8,333千円	決算額	353千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が開催するイベント等において企画、助言、協力をし、また市民に対し実技指導を行う等、つくば市のスポーツ振興に寄与する。 ・市主催事業(つくば学園ウオータリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン、つくば健康マラソン等)において係員として協力する。 ・県南スポーツ推進委員協議会研修会、関東スポーツ推進委員協議会研究大会等に参加する。 <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会において、つくば市スポーツ推進計画の進行管理の実施状況とスポーツ事業の概要について、報告し、審議いただくと共に、スポーツ推進に関する施策について、委員の意見等を各種施策に反映させる。 	事業実績	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ事業協力 つくばウオータリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン大会及びつくば健康マラソン大会等の市主催事業が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、事業協力は行われなかった。 ・研修参加 市スポーツ推進委員研修会、県南スポーツ推進委員協議会研修会及び関東スポーツ推進委員研究大会が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、研修会等へ参加する機会はなかった。 ・会議等参加(延べ12名参加) <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月6日 第1回:スポーツ推進計画進行管理
今年度の目標	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が開催するイベント等において、協力や参加をするスポーツ推進委員数:延べ300名 <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会開催数:1回 	目標に対する成果	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が開催するスポーツ大会・イベント等が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、協力又は参加する機会がなかった。 <p>(スポーツ推進審議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会を1回開催した。第1回審議会では、スポーツの振興や推進計画の進行管理等について、審議会委員から提言・助言を伺うことができ、各種施策に反映することができた。
事業の課題	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員として更なる資質の向上、活動の促進を図る。 	課題への対策	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の資質向上や活動の推進を図るため、市研修会を充実させ、多くの委員の参加を促す予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できなかった。

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ・レクリエーション係
事業名	スポーツ大会開催		
予算額	17,625 (内つくばマラソン負担金11,040) 千円	決算額	10,527 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>(つくばマラソン) 市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場提供のため。 つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が主催し、筑波大学陸上競技場・多目的グラウンドを中心会場とした日本陸上競技連盟公認コースにおいて、42.195Kmの部、10Kmの部を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>	事業実績	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた大会やイベントは全て中止となった。</p>
今年度の目標	<p>(つくばマラソン、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル) 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、来年度の開催に向けて、感染症対策を踏まえた事業の検討を行っていく。</p> <p>(健康マラソン) 市長公約「ランナーに愛されるまちの実現」の取組の一環とし、気軽に参加できる大会にするために、ランニングクリニックや教室を充実させる。</p>	目標に対する成果	<p>(つくばマラソン) つくばマラソン感染症対策室を設置し、来年度の開催に向けて、新型コロナウイルス感染症感染防止策を講じた運営の検討をおこなった。</p> <p>(健康マラソン) 今年度の大会は中止となったが、来年度の開催に向けて、新型コロナウイルス感染症感染防止策を講じた大会の実施について調整をおこなった。</p>
事業の課題	<p>(つくばマラソン) 雨天時においてもスムーズに開催できるように、会場の見直しや当日の参加者の動きに応じたレイアウトの変更等が必要である。</p> <p>(健康マラソン) 事前イベントのランニングクリニックについて、定員を大幅に超える申し込みがあるため、開催方法等を検討し、より多くの方が参加できる環境を整える。</p>	課題への対策	<p>(つくばマラソン) 雨天時を含め、新型コロナウイルス感染症感染防止策を講じた会場の見直しやレイアウトの変更等の検討をおこなっている。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症感染防止対策をふまえた事前イベントの実施に向けて、協力企業との調整をおこなっている。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ・レクリエーション係
事業名	スポーツ教室開催		
予算額	6,402 千円	決算額	672 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>(目的) スポーツ教室を開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。</p> <p>(概要) 市民を対象に、市報・つくば市HP・facebook等で募集を行い教室を開催する。</p>	事業実績	<p>【参加者延べ人数】</p> <p>・バドミントン84名・ランニング36名・体幹ムーブメント105名・スラックライン33名・車いすバスケ16名</p> <p>上記の教室を開催し、市民のスポーツ振興に努めた。</p>
今年度の目標	<p>新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、様々な種類のスポーツ教室を広く開催し、より多くの市民がスポーツに触れる機会を提供する。</p>	目標に対する成果	<p>当初は12種類の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、7種類を中止とし、市内等の感染症拡大状況を勘案して、5種類の教室を実施し、市民がスポーツに触れる機会を提供した。</p>
事業の課題	<p>参加者も含めた市民の意見を参考に、より多くの市民がスポーツを始めるきっかけづくりとなる教室を取り入れていく。</p>	課題への対策	<p>新たな教室として、「スラックライン」教室を開催し、より多くの市民が様々なスポーツに触れる場を提供した。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	青少年健全育成事業		
予算額	6,615千円	決算額	3,235千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>○つくば市青少年相談員が中心となり青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動(7月～12月実施) ・学校訪問(6月～7月実施) 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動(通年) 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 <p>○青少年の健全育成を展開する団体に対し補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 	事業実績	<p>○青少年相談員の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・声かけ運動(各小中学校、高校)120回 学校の状況や要望の把握 ・「青少年の健全育成に協力する店」訪問登録活動 A区分登録店舗数(101店舗) ・広報誌「相談員だより」年1回発行 <p>◇新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつりつくばでの啓発活動(8月24日・25日) ・薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・地区巡回パトロール ・学校と相談員の情報交換会を実施(6月～8月) <p>○補助金交付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市子ども会育成連合会:4団体 青少年を育てるつくば市民の会:4団体
今年度の目標	<p>あいさつ・声かけ運動実施数:120回</p> <p>「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を積極的に推進していく。</p>	目標に対する成果	<p>あいさつ・声かけ運動を目標としていた609回実施し、あいさつをする児童が増えている。</p> <p>訪問活動実施店舗について、累計434店舗、うち新規の登録は7店舗で目標達成はできなかったが、青少年健全育成に意識を高めることができた。</p>
事業の課題	<p>青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。</p>	課題への対策	<p>青少年相談員が、青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を企画したほか、関係機関と連携を図った。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	青少年体験学習事業		
予算額	2,164 千円	決算額	326 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>○青少年の自主的な活動や体験を行い、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、学外の体験学習を通して社会力を育成するために事業を推進する。</p> <p>期日:A 7月24日(金)、B 8月1日(土) Bについては、午前の部、午後の部1日2回開催</p> <p>対象:つくば市の小学4年生から9年生 協力団体:小田城跡歴史ひろば案内所</p> <p>○青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の実施や、青少年の場所を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の居場所の開設 ・「この指と一まれ！」企画・実施 <p>○子ども体験事業補助金交付</p>	事業実績	<p>○青少年体験学習事業</p> <p>Aコース・7月24日(金)セミの羽化の観察 7人 Bコース・8月1日(土)小田城跡見学と勾玉づくり 17人(午前・午後) 合計参加者数:24人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため、人数に制限をかけ実施</p> <p>○青少年の居場所事業</p> <p>青少年の居場所利用者数 1,333人</p> <p>地域ふれあいコンサート【竹園高校の吹奏楽部演奏】、竹園高校性と市内中学生の交流会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止</p> <p>○「この指と一まれ！」事業</p> <p>8月12日(水)キックオフ・説明会を実施、11月7日(日)ドリームフェスタ実施 (百人一首、茶道カフェ、和太鼓とけん玉、ダンスパフォーマンス、ダンス)</p> <p>○子ども体験事業補助金 6団体</p>
今年度の目標	<p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>	目標に対する成果	<p>青少年体験学習事業については、新型コロナ感染症拡大に伴い、人数を制限して実施した。少数ではあるが、参加者が自然等を体験できた。「この指と一まれ！」事業では、企画者、ボランティア(青少年相談員)の協力を得て、企画を実現させた結果、「人と人がつながり社会をつくる力」の育成ができた。</p>
事業の課題	<p>青少年が自主的な活動や体験ができるよう、昨年度の実績を踏まえ事業の展開を図る。</p>	課題への対策	<p>多くの方に体験機会を提供したかったが、新型コロナ感染症拡大に伴い、残念ながら人数を制限して事業を行った。また、事業を行うにあたり、新型コロナ感染症蔓延防止対策を行い、あわせて安全対策、熱中症対策等を事前確認の上、安全に実施できるよう対策を行った。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	成人の集い開催事業		
予算額	5,043 千円	決算額	29,712 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催する。</p> <p>市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。</p> <p>○主催 つくば市・つくば市成人の集い実行委員会</p> <p>○期日 令和3年(2021年)1月10日(日)</p> <p>○会場 つくばカピオアリーナ</p> <p>○該当者 平成12年(2000年)4月2日～平成13年(2001年)4月1日生まれの方 対象者数 2,782人</p>	事業実績	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大している地域から多くの帰省が想定され、参加者や家族等への感染や医療体制の更なる逼迫につながる恐れがあることから中止の判断を行った。中止に伴い、成人の集いで予定されていた実行委員長や市長による挨拶等の動画を年度末日まで配信し、さらに、式典に代わり新成人の皆様をお祝いするために一人1万円の「つくば市特別成人祝金」の支給を行った。</p> <p>(1)式典動画内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誓いの言葉、新成人に贈る言葉、和太鼓グループ彩 -sai-の演奏 <p>(2)つくば市特別成人祝金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 2,782人 ・申請者数 2,456人 ・支給者数 2,455人
今年度の目標	参加者数：1,500人	目標に対する成果	<p>新型コロナ感染症拡大に伴い、成人の集い開催中止を決定したため、目標には達成しなかった。また成人対象者2,782人に対し、つくば市特別成人祝金申請書を送付し、申請のあった2,455人に支給した。</p>
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・式典を円滑に進行すること。 ・成年年齢引下げ後の「つくば市の成人の集い」を実施するに当たって対象年齢等について検討をする。 	課題への対策	<p>式典の動画撮影にあたり、円滑に式典が図れるよう、会場の内外において、警備を行った。成年年齢引下げ後のつくば市成人の集いの対象年齢及び名称について、慎重に審議した結果、現行通りの20歳を対象とし、名称については「つくば市二十歳の集い」で実施するよう答申を教育長に提出した。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	家庭教育支援事業		
予算額	5,083 千円	決算額	2,691 千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>家庭教育の推進のために社会教育指導員を配置し、幼稚園や小・中学校での家庭教育学級において、親としての資質の向上を図るための事業を実施する。また、乳幼児期の家庭教育の充実のため、乳児家庭教育学級を3か所運営したが、幼児家庭教育学級はコロナ禍のため中止した。</p> <p>社会教育講演会をオンラインおよびオンデマンドにより開催し、学級の枠を超えた学習機会を設ける。</p> <p>小中学校の就学時健診や入学説明会において、家庭教育セミナーを開催し、家庭教育に関する学習機会の拡充を図る。</p>	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級(76学級、学級生数14,363人)を開設 参加者数3,418人 ・家庭教育講演会の開催(全2回、参加者数704人) ・11人の社会教育指導員により、家庭教育学級の運営に際し助言・指導を行った。 ・家庭教育セミナーの実施 小学校18(989名)参加
今年度の目標	家庭教育学級参加者数:20,500人	目標に対する成果	<p>参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話合ったり、講師を招いての講演会・学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認できたほか、学級運営に関わった市民の成長の場につながった。</p> <p>社会教育指導員の助言・指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた。</p>
事業の課題	コロナ禍により対面講座式の家庭教育学級の開催をすることができなかった。	課題への対策	<p>密を避け、感染防止対策を取りながらの開催にも限界があるため、新たに機材を導入し、撮影した動画を学級生に配信することにより学びの機会を提供できた。</p>

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	花と緑の環境美化コンクール		
予算額	210千円	決算額	189千円
事業概要		事業実績	
目的・概要	<p>市民の環境に対する意識を高めるため、「チャレンジいばらき県民運動」が主催する花と緑の環境美化コンクールの参加団体を学校や地域、職場などから募集し、市から県民運動に花壇を推薦する。</p> <p>○募集期間:6月下旬～7月21日</p>	事業実績	<p>学校の部4団体、地域の部11団体、団体・職場の部4団体、フラワーロードの部2団体、合計21団体の応募があり、市審査の結果、6団体を「チャレンジいばらき県民運動」に推薦した。また、応募団体に対して、花苗や肥料などの購入を助成した。</p> <p>令和2年度実施状況 6月 各団体、学校等による応募開始 7月 市審査の上、5団体を県民会議に推薦※ 8月 県民会議による一次(書類)審査 ※(推薦団体) フラワーロードの部:つくば市森の里自治会 おもてなし花壇の部:倉掛「四季の花」通り 団体・職場の部:とよもりボランティア、浅野物産株式会社 学校の部:つくば市立筑波幼稚園</p>
今年度の目標	応募者数13団体	目標に対する成果	<p>ウエルカムフラワーの参加団体に対する周知活動の結果、昨年度と同等の応募団体があり、地域活動の活性化を図ることができた。</p> <p>令和2年度応募者数:22団体(参考:令和元年度実績21団体)</p>
事業の課題	目標を上回る応募があり、特に課題はない。	課題への対策	今後も目標を上回るよう周知する。

令和2年度(2020年度)社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	生涯学習施設管理		
予算額	30,322 千円	決算額	29,951 千円
事業概要			
目的・概要	<p>生涯学習社会の実現に寄与するため、つくば市市民研修センター(北条)の指定管理を行う。</p> <p>また、郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として、古民家を有するさくら民家園(中央公園)の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターでは、利用団体合同発表会、夏休み子どもイベントなど多種多様なイベントを実施。さくら民家園においては、2~3月にかけてひな飾りを展示する。</p>	事業実績	<p>○市民研修センター</p> <p>4月4日 さくらまつり(中止)</p> <p>7月23日 おもしろ理科実験(中止)</p> <p>8月10日 コワナツ~怖い話を聞く夏の夕べ~(中止)</p> <p>10月24日 利用団体合同発表会(中止)</p> <p>その他、健康講座、子育て講座、高齢者講座、趣味講座、伝承継承講座など各種講座を企画したが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や自粛要請があり、利用者の感染防止のためイベントや講座はすべて中止することとした。</p> <p>○さくら民家園</p> <p>感染拡大防止対策を施し、短期間ひな飾りの展示を行った。</p>
今年度の目標	<p>市民研修センター利用者数 35,000人</p> <p>さくら民家園利用者数 7,000人</p> <p>指定管理施設では各種講座、イベント等を実施</p>	目標に対する成果	<p>(市民研修センター)新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため休館を余儀なくされたり、イベントや講座を中止した影響により利用者数は昨年度の半数以下であった。開館時は利用者の感染防止対策を主眼とし、施設利用者から感染者を出すことなく運営を行った。</p> <p>市民研修センター利用者数 12,888人(参考:令和元年度実績32,900人)</p> <p>(さくら民家園)休園や団体利用の中止を行ったため、目標利用者数に達することはできなかった。感染拡大防止を徹底し、手指消毒や密を避けてもらうよう見学者に呼びかけを行った。</p> <p>さくら民家園利用者数 4,780人(参考:令和元年度実績7,705人)</p>
事業の課題	<p>(市民研修センター)(さくら民家園)</p> <p>新型コロナウイルスの蔓延により、今後とも感染拡大防止対策を徹底して行う必要がある。</p>	課題への対策	<p>(市民研修センター)(さくら民家園)</p> <p>施設利用ガイドラインに従い、いばらきアマビエちゃん登録と利用者名簿の提出を徹底し、利用者にも安全に配慮していただくようお願いする。</p>

資料 2

令和 3 年度 (2021 年度) 第 1 回つくば市社会教育委員会議

令和 3 年度 (2021 年度) 主要事業の概要

日時 令和 3 年 (2021 年) 8 月 4 日 (水)

午前 10 時から午前 11 時 30 分まで

場所 つくば市役所 2 階 会議室 202

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	中央図書館	係	管理係 サービス係
事業名	図書館運営に要する事業		
予算額	53,025 千円		
目的・概要	<p>図書館資料の充実を図り、読書や調べ学習など市民の様々な要望に応えるべく積極的に生涯学習を支援する。</p> <p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験 <ul style="list-style-type: none"> 8年生を対象とした事業 ・ ジュニア図書館員 <ul style="list-style-type: none"> 4、5、6年生を対象とした事業 ・ 学校訪問ブックトーク <ul style="list-style-type: none"> 小中学校、義務教育学校を訪問し、本を紹介する事業 ・ インターンシップの受入 <ul style="list-style-type: none"> 図書館勤務を志す大学生を対象とした事業 ・ ファーストブック講座 <ul style="list-style-type: none"> 子育てに絵本を活用するきっかけをつくる事業 ・ 図書リサイクル <ul style="list-style-type: none"> 不用になった図書を市内公共施設や市民に還元する事業 ・ 広報活動 <ul style="list-style-type: none"> 公園通りの図書館通信「ヨモッカ」7,000部（年1回）及び「こどもヨモッカ」7,000部（年1回）の発行 ・ ワークショップ「図書館マスターになろう」 <ul style="list-style-type: none"> 図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習のサポート」プログラムに基づくワークショップ <p>2 図書館協議会、図書館ボランティア活動</p> <p>3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入</p>		
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問ブックトーク事業の推進 ・ 読書推進事業の実施 ・ 図書館事業の積極的なPR ・ 自動車図書館運行事業の充実 ・ 図書返却事業の充実 ・ 学校図書館支援事業の推進 ・ これからの図書館のあり方についての検討 ・ 新たな移動図書館車両の導入 ・ 返却ポイントの増設 		
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止、又は縮小となった。収束が見えない中、感染防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。 ・ 図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。令和2年度に引き続き、この提言書の内容について検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。 		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	中央図書館	係	管理係 サービス係
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業		
予算額	40,405千円		
目的・概要	<p>オンライン化されている地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することにより、中央図書館と4か所（谷田部・筑波・小野川・荃崎）の交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と市域全体の図書館サービスの向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 ・ 4交流センター図書室運営業務委託 ・ 4交流センター図書室図書備品購入 		
今年度の目標	中央図書館とオンライン化されている4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。		
事業の課題	<p>平成27年度からオンライン4交流センター図書室運営業務委託を図書館が行い、新しい図書資料を増やしてきた。引き続き、市民がサービスの向上を享受できるよう各交流センター図書室の蔵書の充実を図っていく。</p> <p>また、地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図りサービスの向上を目指す。交流センター図書室によって、資料の老朽化が進んでいたり、利用者が急増していたりと状況が異なるため、資料購入費の配分の方法が課題となる。</p> <p>令和3年度で1年間の運営業務委託契約期間が終了するので、現在の委託業務について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、令和4年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。</p> <p>また、予算の増額が困難な中、運営業務に必要な人材（司書有資格者）を継続して確保していくことが課題となる。</p>		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	文化芸術課	係	文化振興係
事業名	つくば市民文化祭		
予算額	11,600千円		
目的・概要	<p>【新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策のため、会場・内容の縮小を検討中。8月2日に実施予定の実行委員会で詳細内容を決定する予定。】</p> <p>文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流促進を目的としている。</p> <p>○開催期間 11月6日（土）～7日（日） ※ノバホール音楽会は11月13日（土）～14日（日） ※荃崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館 荃崎会場：荃崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール</p> <p>○開催部門 【展示部門】 絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽 など 【ステージ部門】 民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンス など 【その他】 囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】 声楽・器楽</p>		
今年度の目標	三密を避けた開催様式を検討する。		
事業の課題	参加者の半数以上が高齢者である。いかに若い世代の参加者を増加させるかが今後の課題となっている。		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	文化芸術課	係	地域交流支援係
事業名	地域交流センター講座		
予算額	5,080 千円		
目的・概要	<p>市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため、市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。</p> <p>前期講座は、46講座、定員721名で5月に募集し開講中。後期講座は、46講座、定員716名で9月に募集する予定。</p> <p>講座の内容は、高齢者・小学生・親子・女性・男性向けなど多岐にわたり企画し、土日、夜間の講座も開講する。</p> <p>また、つくば市消費生活センターや消防署など他部署による普及促進講座も開講する。</p>		
今年度の目標	<p>延受講者数：1,100名 (昨年度は71講座実施し、延受講者数479名)</p>		
事業の課題	<p>受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があった。今後は、アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。</p>		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	文化芸術課	係	地域交流支援係
事業名	生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理		
予算額	104,901 千円		
目的・概要	<p>豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため、指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。</p>		
今年度の目標	ふれあいプラザ利用者数 25,000人（昨年度27,738人）		
事業の課題	<p>開館から10年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えているため、計画的に改修を行っていく必要がある。</p>		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ推進係
事業名	スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員		
予算額	3,664 千円		
目的・概要	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市主催事業（つくばウォークラリー大会、つくば健康マラソン等）において係員として協力する。 ・県南スポーツ推進委員協議会研修会に参加する。 <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会において、つくば市スポーツ推進計画の進行管理の実施状況とスポーツ事業の概要について報告し、審議いただくと共に、スポーツ推進に関する施策について、委員の意見等を各種施策に反映させる。 		
今年度の目標	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>市が開催するイベント等において、協力や参加をするスポーツ推進委員数：100名</p> <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <p>スポーツ推進審議会開催数：2回</p>		
事業の課題	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>スポーツ推進委員として更なる資質の向上、活動の促進を図る。</p>		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ・レクリエーション係
事業名	スポーツ大会開催		
予算額	24,661 千円 (内つくばマラソン負担金15,000)		
目的・概要	<p>(つくばマラソン) 市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場提供のため。 つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が主催し、筑波大学陸上競技場・多目的グラウンドを中心会場とした日本陸上競技連盟公認コースにおいて、42.195Kmの部、10Kmの部を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>		
今年度の目標	<p>(つくばマラソン) 今年度の大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、次の大会に向けてランナーが参加できる代替イベントを開催する。また、来年度の開催に向けて、引き続き、感染症対策を踏まえた大会運営について検討していく。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、「ランナーに愛されるまちの実現」の取組の一環とし、気軽に参加できる大会を開催する。</p>		
事業の課題	<p>(つくばマラソン) 雨天時を含め、新型コロナウイルス感染症感染防止策を講じた会場の見直しやレイアウトの変更等の検討をおこなう。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症感染防止策を講じた運営方法や会場レイアウトの検討をおこなう。</p>		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	スポーツ振興課	係	スポーツ・レクリエーション係
事業名	スポーツ教室開催		
予算額	3,356 千円		
目的・概要	<p>(目的) スポーツ教室を開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。</p> <p>(概要) 市民を対象に、市報・つくば市HP・facebook等で募集を行い教室を開催する。</p>		
今年度の目標	新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、様々な種類のスポーツ教室を広く開催し、より多くの市民がスポーツに触れる機会を提供する。		
事業の課題	参加者も含めた市民の意見を参考に、より多くの市民がスポーツを始めるきっかけづくりとなる教室を取り入れていく。		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	青少年育成事業		
予算額	6,033 千円		
目的・概要	<p>○つくば市青少年相談員が中心となり青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動(7月～12月実施) ・学校訪問(6月～7月実施) <ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動(通年) <ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 <p>○青少年の健全育成を展開する団体に対し補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付 <ul style="list-style-type: none"> つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 		
今年度の目標	<p>あいさつ・声かけ運動実施数：120回</p> <p>「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を積極的に推進していく。</p>		
事業の課題	<p>青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。</p>		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	青少年体験学習事業		
予算額	1,208 千円		
目的・概要	<p>青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の体験学習の実施や、青少年の居場所を提供する。</p> <p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。 期日：8月6日（金）午前・午後2回実施予定 対象：つくば市の4年生から9年生 協力団体：つくば工科高等学校</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現たいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。また、毎月1回社会教育指導員が青少年の活動の相談対応・支援を行う。さらに居場所事業の周知のために特別開催日を設定した。</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金</p>		
今年度の目標	<p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>		
事業の課題	<p>青少年が自主的な活動や体験ができるよう、事業の展開を図る。</p>		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	青少年教育係
事業名	つくば市成人の集い事業		
予算額	5,027 千円		
目的・概要	<p>次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催する。</p> <p>市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。</p> <p>○主 催 つくば市・つくば市成人の集い実行委員会</p> <p>○期 日 令和4年(2022年)1月9日(日)、1月10日(祝)</p> <p>○会 場 つくばカピオアリーナ</p> <p>○該当者 平成13年(2001年)4月2日 ～平成14年(2002年)4月1日生まれの方 約2,800人</p>		
今年度の目標	参加者数：1,500人		
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式典を円滑に進行すること。 ・ 式典開催のためにクラスターが、発生しないよう、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を厳重に行う必要がある。 		

令和3年度(2021年度)主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	家庭教育支援事業		
予算額	3,320 千円		
目的・概要	<p>家庭教育の推進のために社会教育指導員を配置し、幼稚園や小・中学校での家庭教育学級において、親としての資質の向上を図るための事業を実施する。</p> <p>乳幼児期の家庭教育の充実のため、乳児家庭教育学級を市内3か所、幼児家庭教育学級を2か所計画し、保育所における社会教育講座を9か所で開催する。社会教育講演会を年2回開催し、学級の枠を超え、市内在住、在勤、在学者への学習機会を設ける。</p> <p>なお、今年度も新型コロナウイルス感染症対策をとり、講座や講演会の開催は、会場の参加人数を制限し、オンラインや動画配信を実施する。</p> <p>小・中学校の就学時健診や入学説明会において家庭教育セミナーを開催していたが、コロナ禍によりセミナー実施が困難であったため、新たに動画を作成し、家庭教育に関する学習機会の拡充を図る。</p>		
今年度の目標	家庭教育学級参加者数:20,500人		
事業の課題	動画を視聴するだけの学習になってしまい、振り返りの機会がないため、学習の効果が表れにくい。		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	花と緑の環境美化コンクール		
予算額	110千円		
目的・概要	<p>「チャレンジいばらき県民運動」より令和2年度をもって花と緑の環境美化コンクールを終了するとの通知があった。</p>		
今年度の目標	—		
事業の課題	—		

令和3年度（2021年度）主要事業の概要

事業概要			
担当課	生涯学習推進課	係	社会教育係
事業名	生涯学習施設管理		
予算額	29,454千円		
目的・概要	<p>生涯学習社会の実現に寄与するためつくば市市民研修センター（北条）の指定管理を行う。また、郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として、古民家を有するさくら民家園（中央公園）の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターにおいては、利用団体合同発表会、夏休み子どもイベントなど多種多様なイベントを実施。さくら民家園においては、2～3月にかけてひな飾りを展示する。</p>		
今年度の目標	<p>市民研修センター利用者数 35,000人（昨年度12,888人） さくら民家園利用者数 7,000人（昨年度4,058人）</p> <p>指定管理施設では各種講座、イベント等を実施</p>		
事業の課題	<p>コロナ禍において利用者数増加は困難であるが、施設ごとの利用ガイドラインに従い、感染拡大防止に配慮しながら安全に利用してもらうことが最優先になる。</p>		

資料3

〇つくば市社会教育委員条例

平成2年3月27日

条例第8号

改正 平成26年3月25日条例第12号

(設置)

第1条 社会教育法(昭和24年法律第207号)第15条の規定に基づき、社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

(委員の定数及び委嘱の基準)

第2条 委員の定数は、25人とする。

2 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(平26条例12・一部改正)

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員が委嘱されたときの要件を欠いたときは、委員の資格を失う。

(委任)

第4条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成2年4月1日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員設置条例の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員設置条例(昭和63年つくば市条例第62号)は、廃止する。

附 則(平成26年条例第12号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

〇つくば市社会教育委員会議運営規則

平成2年4月3日

教委規則第2号

改正 平成10年4月1日教委規則第9号 平成14年10月28日教委規則第15号
平成20年3月31日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、つくば市社会教育委員条例（平成2年つくば市条例第8号）
第4条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）の会議運営に関
し、必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副
議長を置く。

(平10教委規則9・一部改正)

(議長及び副議長の任期)

第3条 議長及び副議長の任期は、委員の任期中とする。

(議長及び副議長の職務)

第4条 議長は、会議を主宰する。

2 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、
その職務を代理する。

(平10教委規則9・一部改正)

(会議の招集)

第5条 会議は、必要のある場合に議長がこれを招集する。

(付議事件)

第6条 会議開催の日時及び場所は、会議に付議すべき事件とともに議長があらか
じめ委員にこれを通知しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、会議招集の通知後に急施を要する事件が生じたとき
は、これを会議に付議することができる。

(定足数)

第7条 会議は、在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

(表決)

第8条 会議の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(説明の請求等)

第9条 委員は、会議において議事に関する職員（以下「関係職員」という。）に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の会議出席等)

第10条 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(平10教委規則9・一部改正)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則（昭和63年つくば市教育委員会規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成10年教委規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第15号）

この規則は、平成14年11月1日から施行する。

附 則（平成20年教委規則第6号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

資料 4

つくば市社会教育委員名簿

任期(2年): 令和2年8月1日～令和4年7月31日

区分別

No.	社会教育委員氏名	役 職 等	区分
1	上田 孝典	筑波大学准教授 人間系教育学域	学校教育関係者
2	若山 隆男	校長会副幹事	学校教育関係者
3	井坂 孝	並木中等教育学校校長	学校教育関係者
4	坏 文雄	市図書館協議会会長	社会教育関係者
5	伊藤 達也	市シルバークラブ連合会会長 元公民館運営審議会委員	社会教育関係者
6	石黒 澄子	市スポーツ協会副会長	社会教育関係者
7	高田 正澄	筑波山地域ジオパーク推進協議会教育・学 術部会部会員、認定ガイド	社会教育関係者
8	布浦 万代	市国際交流協会理事長 ボランティア活動家	社会教育関係者
9	中山 正巳	市青少年相談員連絡協議会会長	社会教育関係者
10	飯岡 宏之	市子ども会育成連合会会長	家庭教育の向上に資する活動 をする者
11	金井 恵美	市放課後子供教室コーディネーター	家庭教育の向上に資する活動 をする者
12	長橋 進也	市PTA連絡協議会顧問	家庭教育の向上に資する活動 をする者
13	稲葉 房子	元幼稚園長	学識経験者
14	鈴木 もえみ	フリーアナウンサー	学識経験者
15	皆川 幸枝	つくば市議会議員	学識経験者
16	谷村 安子	元小学校長 元公民館長	学識経験者

会 議 録

会議の名称		令和3年度第2回つくば市社会教育委員会議	
開催日時		令和4年 3月 24日(木) 開会 10:00 閉会 11:25	
開催場所		つくば市役所2階 会議室204	
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課	
出席者	委員	伊藤 達也委員(議長)、鈴木 もえみ委員(副議長)、上田 孝典委員、井坂 孝委員、坪 文雄委員、石黒 澄子委員、高田 正澄委員、布浦 万代委員、中山 正巳委員、飯岡 宏之委員、金井 恵美委員、長橋 進也委員、稲葉 房子委員、皆川 幸枝委員、谷村 安子委員	
	事務局	<p><教育局></p> <p>森田 充教育長、吉沼 正美教育局長、貝塚 厚教育局次長、</p> <p><生涯学習推進課></p> <p>大久保 文子課長、色川 純子課長補佐、福田 真一社会教育係長、神立 茂盛青少年育成係長、渡邊 亮太社会教育主事、石澤 弘美主任主査、高井 祐一郎主事</p> <p><中央図書館></p> <p>柴原 徹館長</p> <p><文化芸術課></p> <p>山田 純一係長、加藤 良隆主任</p> <p><スポーツ振興課></p> <p>伊藤 智治課長、宮下 武課長補佐</p>	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 1名
非公開の場合はそ			

の理由			
議題	1 令和4年度主催事業概要について 2 企業連携による教育力向上推進事業について		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
次第	1 開会 2 挨拶 3 職員紹介 4 議題 (1)令和4年度主催事業概要について 中央図書館 令和4年度社会教育事業について 文化芸術課 令和4年度社会教育事業について スポーツ振興課 令和4年度社会教育事業について 生涯学習推進課 令和4年度社会教育事業について (2)企業連携による教育力向上推進事業について 生涯学習課社会教育係 5 その他 6 閉会		

<審議内容>

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 職員紹介<省略>

○事務局

つくば市社会教育委員会議運営規則の第7条の規定により、本日の委員の出席状況について報告をお願いいたします。

○事務局

はい、報告いたします。本日の出席委員は 15 名でございます。全委員数は 16 名ですので、委員の過半数が出席しておりますことを御報告いたします。

○生涯学習推進課大久保課長

ありがとうございます。過半数の出席が確認を取れましたので、会議が成立することを御報告いたします。では、会議に入る前に、3 点ほど説明させていただきます。委員の皆様へ先日本日お送りしました通知に、会議は、事務局職員で対応すると書いてありますが、本日は各担当課が同席していますので訂正させていただきます。2 点目としまして、事業の報告書の様式が変わりましたので説明させていただきます。資料 1 に前回の社会教育委員会会議の御意見を踏まえ、事業の取り組みに目標値の欄を設けました。また、会議で、前年度と今年度を審議していただくに時間を要しますし、新年度の計画は、早い時期にお示したいことから、様式には、左に計画を、右に実績を記入しまして、一つのシートで 1 年分を把握できるような形にしました。今回、資料の到着が遅れてしまい、御心配をおかけしまして申し訳ございませんでした。次に 3 点目について、資料の差し替えがございます。机の上に置いております A 3 判の資料 1 ですが、こちらの差し替えが、5 ページ、ふれあいプラザ管理について差し替えがあります。続いて、9 ページ、10 ページ 11 ページにつきましては、こちらも差し替えとなっております。最後に、12 ページ、13 ページが増えております。いろいろ訂正がございまして、申し訳ございませんでした。それでは、つくば市社会教育委員会会議運営規則の第 4 条 1 項の規定により、議長は会議を主宰するとありますので、議事進行につきましては、伊藤議長よりお願いしたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

4 (1)令和 4 年度主催事業概要について

○議長

おはようございます。お久しぶりでございます。皆様方大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。皆さま方はそれぞれの部門で大変な役割を背負っておられる大事な方々でいらっしゃると思いますので、教育長からお話ありましたように、コロナ対応というのは大変なことですので、万が一のことがあるといけませんので、できるだけ効率よく、密の時間を短くしたいなというふうに考えておりますので、そのようなことを意識しながら、進行を務めさせていただきますので、よろしく御理解・御協力のほどお願いいたします。ありがとうございます。それでは早速議事に入ります。お手元の資料第1議題は令和4年度主催事業概要について、順次行いたいと思います。まず中央図書館について、始めますけれども、まだ皆さん熟読されていない部分がありますので、最初の図書館中央図書館についての議題の黙読をお願いいたします。

(一同黙読)

○議長

進行に入りたいと思います。

○中央図書館柴原館長

資料1 ページです。オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業について、目的と概要を御説明させていただきます。目的は、中央館と分館的機能を果たしている四つの交流センター図書室、谷田部、筑波、小野川、荃崎、こちらの交流センター図書室との連携を図り、円滑な運営と地域全体の図書館サービスの質の向上に資することを目的として行う事業です。

概要については、各4交流センター図書室の雑誌新聞等の購入、そして窓口業務の業務委託に関する業務を中央図書館で担っています。最後に図書室の図書備品の購入、資料の選定方法は、各図書室からの要望もありますが、中央図書館の図書選定委員会で決定したものを購入し配分しています。二つ目の事業が2ページにあります。図書館運営に要する事業について御説明させていただきます。目的は、図書館資料の充実を図り、読書、調べものなど、学習される市

民の様々な要望にこたえるべく、積極的に生涯学習を支援することです。図書館はつくば市において生涯学習施設の中でもかなり大きな施設となっていますので、生涯学習の中心的な施設機能を果たしていきたいということで、事業を展開しています。概要ですが、各種図書館事業として「職場体験」「ジュニア図書館員」「インターンシップ」これは小学生或いはインターンシップは大学生ですが、図書館での実習等の受け入れをしています。「学校訪問ブックトーク」については、小学校4年生と中学1年相当の7年生の方に中央図書館司書が訪問して、毎年テーマを決め、ブックトーク、本の紹介、図書館の紹介等をしている事業です。次に「ファーストブック講座」は、子育て世代の親御さんを対象として、絵本等を活用するきっかけを作る事業で、親子で御参加していただいている事業です。

図書リサイクルは、不要になった図書を市内公共施設に有効活用していただくために配分します。その後、市民の方にも還元する事業になっております。広報活動、これは図書館独自で作っている図書館だよりです。「ヨモッカ」というものと、「こどもヨモッカ」を各7,000部、年に1回の発行をしています。大人向けが「ヨモッカ」で、図書館での配布、市内の区会を通じて、市民の皆様への回覧をしています。「子供ヨモッカ」は、市内小学校4年から6年生を対象に配布しています。2番目の「図書館協議会、図書館ボランティア活動」についてですが、図書館協議会は、図書館法に定める図書館協議会を設置して、現在11名の委員により、年に2回、図書館事業の報告、或いは評価、また、様々な事業の提言等もいただいている協議会です。図書館ボランティア活動は、現在中央図書館で10の分野で今年度約150名の方が登録いただいています。ボランティア活動を通じて中央図書館の業務を支えていただいています。最後に、「図書備品」は図書資料、視聴覚資料等を選定し購入することです。選定は司書による選定委員会を毎週開催して、中央図書館、交流センター図書室で受入れる資料の確定をして、発注をすることを行っています。年間の受入れ

点数ですが、中央図書館、自動車図書館も含めて、中央図書館として、約2万冊ほど購入しています。説明については以上です。よろしくお願いいたします。

○議長

ありがとうございました。それでは質疑応答に入ります。はい、どうぞ。

○谷村委員

中央図書館という名称で、つくば市図書館が利用されていると思うのですが、交流センター図書室という名称について、とても気になっています。全部の交流センターに小さな図書室を備えていますけれども、それとこの4館の図書室は別だと思うのですね。オンラインで繋がっている4室、図書室という名称ですけれども、やはり区別して呼んだ方が、谷田部、筑波等各地区に、中央的に図書室を構えていた、それが四つの大きな図書室だと思いますが、他の小さな交流センターの図書室とは違うものがあると思い、交流センター図書室という名称ではなく、つくば図書館とか、そういう名称の方がわかりやすいかなと常々思っていたので、質問させていただきました。回答は今すぐなくても結構です。よろしくお願いいたします。

○議長

はい、どうぞ。

○中央図書館柴原館長

おっしゃる通り市民の方にとってはちょっとわかりづらいという面もあり、区分けしているのは、厳密に言うつくば市に図書館というのは中央図書館一つしかありません。図書館法に定める公立図書館というのは1館しかないという状況です。ただ、4館についてはオンライン化されているので、図書館法に定める図書館ではありませんが、分館的機能を果たしているところがあるので、確かにそれ以外の13の交流センター図書室と機能的には、全くではないですが、かなり違っているなので、区別は必要と思っています。まだ担当レベルでの考えですが、いずれは四つの交流センター図書室について、分館として位置づ

けるべきではないか、図書館法に定める図書館分館に、位置づけるべきではないかと考え、検討、研究しているところです。

○議長

はい。他にございますか。

○皆川委員

図書館というと市民の方は中央図書館をイメージされる方が多く、もっと使いやすくという意見もかなり届いていると思うのですが、図書室という位置付けの四つの交流センターの図書室を、充実させて、蔵書も古い図書が多く、棚も空いているスペースがあるので、もう少し充実させて、図書館は分散していくような考え方もあるのかなと思いますので、議論していただいて中央図書館だけではなく、他もあります。と、誘導していくことも必要なのかなと思います。委託になっていますけれども、司書さんの役割も非常に重要だと思いますので、本の貸し借りだけではなく、リファレンスやその企画をやるような取り組みも是非進めていただきたい、それが社会教育全体の充実に繋がっていくと思います。意見です。よろしくお願いいたします。

○議長

はい。どうぞ。

○中央図書館柴原館長

現在4交流センターについては窓口業務の委託をしていますが、司書資格を持った方を配置してくださいという委託内容になっているので、必ずどの時間帯に行っても、入れ替わりで職員がローテーションをしており、必ず司書は1人カウンターに入っているよう委託しています。レファレンス業務について、行っていますが、各4交流センター図書室の自主事業は、取り組めていないところもありますので、御意見等も参考に今後も充実したものになるよう進めていきたいと思います。ありがとうございました。

○議長

はいどうぞ。

○井坂委員

オンラインで図書館を結んでいるということで、このような事業を来年度も続けてお願いしたいと思うのですが、今から話すのは来年度ということじゃなくて将来です。できれば学校の図書館と、中央図書館その他の図書館をオンラインで結んだ検索システムを作っていただければいいかなと思っています。つくば市はスマートシティに選定されていますし、学校の方では、総合的な探求の時間及び総合的な学習の時間で、いろいろなものを検索していこうという動きがあります。その際、学校の規模によっては、蔵書が足りないとか、このような本はあるかな、どうなのかなと迷うと思います。その時に、学校図書館に検索システムがあって、中央図書館にこんな本があるよ、または、どこの交流センターにこんな本があるよ、じゃあ借りに行こうとなってもいいですし、もっと発展すれば、それぞれの学校図書館で、中央図書館のものもすぐに借りられるというシステムができたなら、スマートシティ構想に図書館が大きく役立っているというふうに思うのです。すぐにとは申しませんが、新規事業ということ検討していただければありがたいと思います。以上です。

○議長

要望ということですね。他にございますか。

○中央図書館柴原館長

中央図書館の蔵書の検索については、すでに WebOPAC というインターネット上で検索ができるシステムがあります。技術的にも、例えば県内の図書館を一括して横断検索ができるシステムを県の図書館協会が作っていますので、技術的には可能だと思います。この議論につきましては、今から 20 年近く前に議論したことがあります。学校教育と一緒に中央図書館と取り組んだ時期もありましたが、その時は残念ながら実現に至らなかったのですが、来年度令和 4 年の 10 月から電子図書館サービスを中央図書館で開始しますので、学校との連携とい

うのは日頃から考えていますので、視野に入れて整備していきたいと思います。また学校図書館で中央図書館の本が借りられないかという御提案については、すでに団体貸し出しというシステムがあり、1度に300冊まで3か月間御利用いただけます。かなり多くの学校で、団体貸し出しの登録をしていますので、今現在できるサービスとして御紹介します。ありがとうございました。

○井坂委員

できれば1度に300冊ではなく、欲しい時に欲しいものが貸出しできるようなネットワークができればありがたいと思っています。

○中央図書館柴原館長

県内の先進事例で、取手市の図書館が各学校からの要望に応じて、週に1度だと思っておりますが配送サービスをしています。今すぐできるかは環境整備も必要になり、難しいところがありますが、先進事例も研究していきたいと考えています。

○議長

他にございますか。

○上田委員

限られた予算、人員、或いは施設設備の中でかなり充実した取り組みを行っていただいていると感じています。引き続き、特に中央公民館以外の4交流センター、或いは図書館、自動車図書館の利用者の方々の声をすくい取るような形できめ細かな取り組みを行っていただきたいと思います。それから、全国でもすごく先進的な取り組みしている図書館はたくさんあります。例えば、蔵書、書籍、或いは視聴覚教材に加えて、例えばカードや絵画を近所の喫茶店の方々が借りたり、或いはボードゲームも図書館の資料として所蔵しながら、活用して、例えば中央図書館の二階のスペースのようなところで市民の方々が交流できるような取り組み等もいろいろと工夫をしていただければなと思います。

○議長

はい。どうぞ。

○中央図書館柴原館長

ボードゲームや絵画についてですが、絵画については、県内で筑西市が少し貸し出ししていると思います。ボードゲームは、中央図書館でもコロナに入るまでは年に1、2回、ボードゲーム大会をイベントとして行っていました。11月1日から1週間程度、ボードゲームウィークという海外の取り組みがあり、アルスホールで、年に2回程度やっていました。ただコロナ禍で人を集めることが難しく、この2年間は全く取り組みされていませんが、ボードゲーム自体は中央図書館としても所蔵しています。貸し出しについて検討してきましたが、細かいパーツの管理ができるかなというところで、まず図書館の事業として取り組むときに使うということで留まっています。今後貸し出し等についても検討していきたいと思っています。ありがとうございました。

○議長

ありがとうございました。

○文化芸術課加藤主任

3ページのつくば市民文化祭の項目を御覧ください。目的は文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流促進をすることを目的としています。開催概要としては、開催期間は11月5日及び6日。なお、ノバホール音楽会は、翌週の11月12日から13日の2日間で実施予定です。また、荃崎会場のみ展示を前倒して開催する予定です。

会場としては例年と変更なく、全7会場で実施する見込みです。また、開催部門についても、例年から大きな変更はありません。

○文化芸術課山田係長

続きまして4ページ目、事業名地域交流センター講座です。目的は、市民に学習機会を提供し生涯学習社会の実現に寄与するためです。概要としては、市内

の17地域交流センターで自主企画の講座を開催し、5月の前期講座と9月の後期講座に受講生を募集します。前期講座は50講座程度、約700名募集し順次開催します。後期講座は50講座、約700名募集し順次開催します。続きまして、事業名生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理です。この施設は、つくば市下岩崎地内にあります。豊かな生涯学習社会の実現に寄与することを目的に、指定管理者制度により運営されており、つくば市ふれあいプラザの維持管理を行います。また生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要望に即した自主事業の開催やイベントを実施しています。

○議長

それでは質疑に入ります。はいどうぞ。

○谷村委員

ふれあいプラザの講座は地域交流センター講座と比較すると、とても魅力的で参加したいと思うのですが、料金が高いのはなぜか教えてください。

○文化芸術課山田係長

ふれあいプラザの講座は、指定管理者制度で運営されている自主事業の講座です。指定管理事業者で企画しますので、講師の報酬単価が、市の基準よりも高い場合もあり、その分を受講者の方に負担していただく部分もありますので、地域交流センターよりも受講料が高くなっています。

○議長

他にございますか。はいどうぞ。

○皆川委員

ふれあいプラザの利用実績数が空欄になっていますが、実績値がわかればその料金との整合性というのか、もし利用者数が数値で上がっているのであれば、料金もしょうがないと納得する部分もあります。もしこれが低いのであれば検討をしていく必要があると思います。次回以降提示していただければと思います。

○文化芸術課山田係長

講座の開講数や利用者数は、今年度は3月末を締めとして、4月以降に報告が上がりますので、次回に数字を発表できると思います。

○皆川委員

是非お願いします。ふれあいプラザは位置的には少し離れていますが、まだ綺麗で施設も本当に充実しています。託児機能もあります。子育て世代の方にとんどん利用していただきたいです。是非力を入れてお願いします。

○議長

はいどうぞ。

○中山委員

このふれあいプラザは民間企業で運営されていますが、去年今年とコロナで大分利用者が減っているのではないかと思います。民間事業者がどういう状況でいるのか、また、全然減ってないのなら問題ないのですが、どうでしょうか。

○文化芸術課山田係長

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、利用者数が減っています。特に昨年度は、施設の休館が多かったため、利用者数が減っていました。今年度に関しては、正確な数値は報告が上がってこないと申し上げることはできませんが、昨年度に比べると施設の休館が少なかったため、利用者数は昨年より増えていると思います。コロナ禍の影響を受けて利用者数は減っており、経営努力をいただいています。

○中山委員

民間なので赤字になれば、倒産するような状況になると思うと、市の方の補填等はあったのですか。

○文化芸術課山田係長

ふれあいプラザの他にも指定管理の施設はあります。こちらの施設にも含めて休館した場合などの、補填をしております。

○議長

他にございますか。

○長橋委員

交流センターの講座も含めて、オンライン講座は検討されているのでしょうか。是非検討していただきたいのですが、いかがでしょうか。

○文化芸術課山田係長

オンラインの講座に関しては、現在は施設にインターネット環境が整っていないため、できないのが現状ですが、令和4年度当初予算において、地域交流センターをWi-Fi化していくため、予算を計上しました。今後は、環境を整えて、オンラインの講座もできるようにしていきたいと考えています。

○長橋委員

環境整備も含めて着実にやっていただけるということで、ありがとうございます。よろしくをお願いします。

○鈴木委員

4ページの事業の課題で、受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があったとありますが、例えばどのような講座を企画されたのでしょうか。また、講師のを見つけ方や講座の決め方について、今一度お話を聞かせていただけますか。よろしくをお願いします。

○文化芸術課山田係長

令和3年度応募者が少ないため、開催が中止となった講座は1件ありました。消費者トラブル対処法という講座で、20名の定員応募をかけたところ、3名しか集まらなかったため中止しました。次に講座については、各地域交流センターに、こんな講師がいると持ち込んでくださる先生方もいますし、例えば、講座をやり、その後受講者の方にいろいろ声を聞いた中で、反応がよかったもの、またやって欲しい、内容を変えて欲しいという講座に、それぞれの地域交流センターで工夫をして講座を企画しています。

○鈴木委員

今 20 名募集のところ 3 名と言いましたが、消費者トラブルに関しましては、逆にその方たち是非受講させてあげたかったと思います。募集人数が多かったのではないかと思います。

コーチングを受けた時に、5 名定員で 3 名だったのですが、残念ながら 2 人がやめてマンツーマン状態になったこともあったのですが、5 名ということで、3 名で成立しました。消費者トラブルでしたら逆に相談するところがないとか、助かったという方がいるので、20 名というのが多かったと思うので、是非検討していただければと思います。

○文化芸術課山田係長

大切な講座ですので、開校できるように、創意工夫をして参りたいと思います。貴重な御意見ありがとうございます。

○議長

他にございますか。

○金井委員

交流センター講座の 5 月、9 月の募集を大変興味深く見させていただいているのですが、どうしても、交流センターごとに偏りがあるような気がします。先ほど講師をどうやって選んでいるのでしょうかということ、各交流センターということだったので、交流センター同士で情報を共有して、色々な地域で良い講座をできるようにしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

○文化芸術課山田係長

確かに各地域交流センターで同様の講座になったりしてしまうということもあるので、調整等しっかりやっていきたいと思います。ありがとうございます。

○議長

他にございますか。はいどうぞ。

○布浦委員

先ほどの定員に満たない講座で、閉校になったということですが、私、県民大学の方に少し関係しています。15名の募集のところ、やはり半数に満たないので、県の方では二次募集をしていました。二次募集で定員に達したという事例があったようです。数人でも受けたかったという人がいたわけですね。これは貴重だと思いますので、1回でまたほぼ、チラシを見なかったとか、告知が遅かったとか色々な条件もあるかもしれませんので、二次募集はいいのではないかと思います。

○文化芸術課山田係長

実際、地域交流センターの方から、募集をかけたけど集まりが悪いので、延長をしたいというときには、受付期間を延長していますので、今お話いただいた二次募集という考え方を工夫して開催に向けて努力して参りたいと思います。ありがとうございます。

○議長

それでは次に移ります。スポーツ振興課の担当の方。

○スポーツ振興課伊藤課長

資料の6ページからです。スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員関連の事業です。はじめに事業目的です。スポーツ推進委員については、市が開催するイベント等において協力いただきまして、市民に対し実技指導などを通し、つくば市のスポーツ振興に貢献することが目的です。またスポーツ推進審議会につきましては、市長の諮問機関として、市のスポーツの推進に関する施策等について意見を求め、それぞれのお立場から、市に対して提言、助言等をいただくことを目的としております。主な概要は、スポーツ推進委員につきましては、市の主催事業のウォークラリー、健康マラソン等において、市と一緒に活動していただくということが大きな1点目の概要です。2点目は、県南スポーツ推進協議会等、各市町村でもスポーツ推進委員をされている方がいますので、

それぞれの市町村の方々と合同による研修会等に参加をしています。スポーツ推進審議会につきましては、審議会を開催して、主に市で計画しているスポーツ推進計画等の進行管理の評価、また新たな施策等に対して意見等を頂戴するものです。続きまして、資料7ページ、スポーツ大会開催の事業です。目的は、市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、市以外の全国のランナー等の技術向上や交流の場を提供することが目的です。概要は、大会等の開催で主につくばマラソン、健康マラソン、その他ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等のイベントを開催するものです。最後に資料8ページ、スポーツ教室の開催事業です。目的はスポーツ教室を開催することにより、市民へのスポーツの活動の啓発、市民同士が交流できる場の提供、また、市民の健康づくりを図ることを目的としています。概要は市民を対象とした様々なスポーツ教室を開催しているところです。

○議長

質疑に入ります。どなたか御意見、御質問ございますか。よろしければ次の議題に入ります。

生涯学習推進課から御説明願います。

○生涯学習推進課青少年教育係神立係長

青少年健全育成事業です。目的はつくば市青少年相談員が中心となり、青少年の非行防止や、青少年健全育成のために事業を展開することです。概要は、青少年の健全育成に協力する、登録活動、学校訪問、挨拶声かけ運動です。青少年健全育成の啓発活動を行っていく、その他に、補助金の交付でつくば市子供会育成連合会と青少年の育てるつくば市民の会の方に補助金を交付するという事業です。続いて10ページです。青少年体験学習事業です。目的は、青少年の自主的な活動や体験を行い、自己肯定感や自己有用感を育むとともに学外の体験学習を通して、社会力を育成するために事業を推進していきます。概要として青少年体験学習事業、この指と一まれ！事業、青少年の居場所事業、つくば

市子供体験事業補助金です。続いて事業名 20 歳の集い事業です。令和 3 年度まで成人の集いでしたが、令和 4 年度から 18 歳が成人になりますが、つくば市では 20 歳の方をお祝いすることになります。目的は次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う 20 歳の集いを開催するということです。概要は、市内中学校からの推薦による、実行委員会を組織し、企画運営等を主体的に取り組みます。主催が、つくば市とつくば市 20 歳の集いの実行委員会です。期日は令和 4 年度については令和 5 年の 1 月 8 日を予定しています。会場は、例年通りつくばカピオアリーナです。該当者が平成 14 年、2002 年 4 月 2 日から平成 15 年、2003 年の 4 月 1 日までの方です。令和 3 年 10 月時現在、対象者が 2,711 名です。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

続きまして、社会教育係 12 ページです。

家庭教育支援事業として、目的は家庭教育の推進のために、幼稚園、小中学校の家庭教育学級において、親としての資質向上を図るための事業を実施することです。概要は、社会教育指導員を配置して家庭教育学級を実施します。乳児家庭教育学級を市内 3 ヶ所、幼児家庭教育学級も市内 3 ヶ所で行います。保育所における社会教育講座を 9 ヶ所で行います。その他にも社会教育講演会を開催して、学級の枠を超えた学習機会を設けることです。また、企業への家庭教育を推進するということです。現在、新型コロナウイルス感染症対策として、講座や講演会の開催は会場の参加人数を制限しています。オンラインでの開催動画配信も、引き続き行っていきたいと思っています。続きまして 13 ページです。生涯学習社会の実現に寄与して郷土に対する理解、伝統芸能の継承等を目的として、つくば市市民研修センターの指定管理、また古民家を有するさくら民家園の維持管理を行うことです。市民研修センターにおいては、利用団体の合同発表会、夏休み子供イベントなど多種多様なイベントを実施しています。さくら民家園においては 2 月から 3 月にかけて雛飾りを展示しています。

○議長

それでは質疑に入ります。御質問、御意見ある方、いかがでしょうか。

○皆川委員

家庭教育学級ですが、以前は各交流センターで実施していたものを縮小、数を減らして今実施していますが、コロナ禍というのがありますし、社会状況が孤独な子育てということが加速しています。産後鬱や子育ての中で問題を抱えるお母さんが非常に増えていて、市の他の福祉事業等もそちらの事業の方の負担が増えているという状況があります。家庭教育学級について、はもう一度しっかり実施を充実させる、拡大するという検討も必要なのではないかと思えます。確かに自主運営なので、なかなか働いているお母さんが運営がしにくいので、参加者も年々減ったという状況もあると思いますが、もう少し本当に地域に根差した子育てを進めていくということ、大事にしていかないとこれから子育て辛くなりますし、お母さんの支援をしっかりと考えていく必要があると思えます。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

御意見ありがとうございました。幼児の家庭教育学級を今年度までは竹園とゆかりの森の2ヶ所で行っていましたが、来年度から小野川の交流センターで1ヶ所増やして開催することも考えています。徐々に子育て世代に対する学級も増やしていきたいと思っています。

○皆川委員

TX 沿線は本当に子育て世代が急激に増えています。TX 沿線で実施できることも考えていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

TX 沿線でも御意見のとおり、かなり増えていますので実情を踏まえながら事業展開をしていきたいと思えます。ありがとうございます。

○議長

他にございますか。

○上田委員

乳幼児の子育て支援についても非常に重要だと考えていますけれども、小中学生、或いは中高生向けの青少年の非行防止、青少年健全育成の青少年相談員は今つくば市には何名ぐらいいらっしゃるのかということをお教えいただきたい、それから交流センターで週1回開放しながら社会教育指導員が支援を行う居場所づくりの取り組みの効果、どれぐらい利用者がいて子供達の育ちに対してどのような支援をして、その効果がどうなっているのかということについての検証はされているのかどうかお教えいただきたいと思います。

○生涯学習推進課青少年教育係神立係長

相談員は現在60名で活動しております。青少年の居場所ですが、今年2月までの利用が全体で975名でした。

○生涯学習推進課色川課長補佐

補足として、青少年の居場所ですが、令和2年度に市内の中高生全員にアンケートを取らせていただきました。その結果、認知度が低かったというがわかりましたので、令和3年度は居場所認知拡大を図ろうということで、7箇所の交流センターを使い、その7箇所で大穂交流センター、荃崎交流センター、松代交流センター、筑波交流センター、豊里交流センター、竹園交流センター、吾妻交流センターで、社会教育指導員が企画をして、例えば大穂交流センターでは、大穂体育館を使い、体を動かそうという企画を2回計画しました。荃崎交流センターも、絵画教室を企画して、それぞれ居場所の認知度を図るために、それぞれ企画をして行ったところです。まずは認知度を図って、皆さんが交流の場として使っていただくよう広めているところです。

○上田委員

ありがとうございました。大変きめ細かく取り組んでいただいていると思います、感謝申し上げます。貧困とか子供食堂とか色々な取り組みがつくば市内行われていますし、或いは貧困家庭に対する学習支援も行われていますし、個人

情報の問題もありますけれども、学校とも連携しながらそこまで福祉的な支援が必要ではないような子供たちでも学校以外の場所で、居場所を確保できるような取り組みを進めていただきたいと思います。

○議長

他にございますか。はいどうぞ。

○金井委員

成人の集い事業は、令和5年度は、1月8日、1日のみとなっていますが、令和3年度は2日に分けて、4回でやっていたと思います。もう令和4年度は、この日1日で行うということでしょうか。

○生涯学習推進課青少年教育係神立係長

1月8日、一日での開催はコロナの状況によると思いますが今の状況ですといつ収まるか分からない状況でもありますので、席の方のスペースを確保させていただいて、1日、2回も検討していこうかと思っているところです。

○議長

他にございますか。

○鈴木委員

12 ページの家庭教育学級の事業についてですが、私も何回か関わりを持ったのですが、一時期アロマ、ネイル等少し趣味的になってしまったので、ここのところ学習にシフトを変えたというお話を伺っていますけれども、先ほど皆川さんがおっしゃったように、若いお母さんが学習というとなんか堅くなってしまうので、先輩ママがつくばならではのこのような楽しい子育てがあるのよとか、地域みんなや、このような人たちがこういうふうに見守っているよと、応援になるような、学習というとなんか堅いので趣味は駄目だけど学習と趣味の間ぐらいの心が温かく耕されるような、企画をしてもらえたら嬉しいと思います。そのためにつくばならではの楽しい子育ての提案も、併せてお伝えできるように、

そして地域の人達との繋がりも孤独にならないようにという提案を、是非生涯学習課でしていただけたら嬉しいと思います。そのあたりの企画に関してはいかがですか。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

確かに学習となるとかなり堅く印象付けられてしまいますので、プログラムをもう一度見直しつつ気軽に参加していただけるようなプログラムも取り入れられたらいいと思っております。

○鈴木委員

学習と楽しいこと二つ、欲張りですけど2種類あると嬉しいと思います。知的好奇心を満たす学習と楽しいことができたらいいいと思いますので、是非お願いします。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

御意見ありがとうございます。今後とも参考にさせていただきますのでよろしくお願いいいたします。

○議長

他にございますか。

それでは令和4年度主催事業概要については以上で終わります。

4 (2)企業連携による教育力向上推進事業について

○議長

それでは次の議題に入ります。

「企業連携による教育力向上推進事業について」を議題といたします。事務局より説明願います。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

企業連携による教育力向上推進ということで、昨年度あたりから茨城県が県内の市町村に企業と一緒に家庭教育を進めてみてくださいということがありまし

て、まず家庭教育というのは、すべての教育の出発点ということで家庭で子供が基本的な生活習慣や社会的マナーを身につけるといものが家庭教育です。その中で家庭教育学級となると、保護者が相互に学び合う場として、子育てに関する内容を学ぶ場となります。つくば市の場合、家庭教育学級は市立の幼稚園、小学校中学校義務教育学校で日中に参加できる方、しかも学びたいと意欲のある方のみが参加する場というのが主でしたが、県からの要請もありこれからは、こちらから出向く家庭教育学級という形を進めていきたいと思っています。

今年度は、つくば市で1企業だけヤクルトで行いました。ヤクルトの場合、市役所に昼休みに来るので、また、他の市町村でもヤクルトは行っていたので気軽に声をかけて実施の運びとなりました。是非皆さんに御意見を伺いたいの、各企業に、どのようにアプローチをしていったらいいのかということをお聞きしたいと思っています。今まではチラシを作ったり、ホームページに上げてみましたが、応募者は来ませんでした。こちらからどのような形で、お伺いすればいいのかということをお聞きしたいと思っています。

○議長

どうでしょう。いきなりの振りですけれども。

○石黒委員

色々な業界があるかと思うので、そうすると、色々な協会があると。同じような業界の協会にお声掛けをして、それで集めていただくというか、そういうのはいかがでしょうか。例えば介護とか、多分シフト制で入っていたり、時間外で変わっていくと思うのですが、そういう業界に学びの場をどうでしょうというように、御提案をしていくとか、というのが一つあるかなとお話を聞いていて思いました。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

確かにそういったところ思い浮かばなかったもので、是非参考にさせていただき

たいと思います。ありがとうございます。

○議長

他にございますか。

○鈴木委員

今は発信力が大事だと思いますので、発信力のある企業にこちらからお声掛けしてみて、具体的に若いママ達、或いは企業はこんなことしているという企業から SNS やフェイスブックやホームページにどんどん発信してもらうことによって、若いお母さん達は見ますので、そういう企業がいくつつくばにもありますから、そのような企業も当たるのが、今どきかなと思います。具体的にどんどん発信してもらうことで他の企業も、ここやってるのかこうなんだって。そういうのも、今どきの戦略かなと思います、いかがでしょうか。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

確かにうちだけでの発信というのはどうしても、かなり狭いといいますか、あまり広がらない部分がありますので、企業の方がそういったことについては、おそらく長けていると思いますので、積極的に利用させてもらうというか、是非声をかけて一緒に進めていければと思います。

○鈴木委員

企業もイメージアップということで多分アピールされるかと思います。

○議長

他にございますか。

○布浦委員

ヤクルトでの成果といいますかその結果をお伺いしたいのと、もしそれがいいような内容であれば、ヤクルトでこういうことをしましたという体験を発信していくことも、窓口の一つにはなるのではないかと思います、ヤクルトの内容をお伺いさせていただきます。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

ヤクルトには、事務所にこちらから出向いて、ワークショップ的なものを行いまして、子育てに関する大体 12、3名の、子育て世代の方がほとんどでしたので、子育てに関するワークショップを行いました。

従業員の方も一堂に会する機会というのはなかったもので、皆さんの子育てに関する疑問や悩みを出してお互いに話し合うという場になり、非常に有意義な場であったというお声はいただいております。行った結果をヤクルトの方から発信してもらおうというのもそれを見た方が、じゃあうちでもというふうに繋がっていく形になればいいと思いますので、ヤクルトにまた提案してみたいと思います。

○布浦委員

そうですね、各家庭に配達した時に、何かパンフレットがあればかなり効果があるのではないかなと感じます。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

配っている各家庭の方までには私も考えが至らなかったもので、是非参考にさせていただきます。

○議長

他にございますか。それでは第2議題の企業連携による教育力向上推進事業については以上で終わります。後程気づくことがございましたら、ぜひ事務局の方も受けとめていただきまして、整理願いたいと思います。

5 その他

その他に入りますが、事務局から何かありますか。皆さんの方からございますか。

○高田委員

昨年10月29日に令和3年度社会教育委員研修(県南・県西地区)に私を含めて3名が参加しました。それぞれの市の社会教育委員会のあり方がベースでした

が、その中で私が少し興味を持った内容について研修資料を読ませていただきます。「社会教育委員会議は、私たちから見ると、議題が提示されて進める形が多いのですが、その形を基本としながらも、[委員からも発信する場]が欲しいところです。主体的に活動できる場面・場があれば、委員活動は豊かな内容を盛ることができます」が議題としてあり、他市事例の発表もありました。つくば市もやるべきだということではなく、この様な動きがあることを皆さんにお伝えします。

○議長

研修結果の報告ありがとうございました。他にございますか。

○長橋委員

資料をいただいた時に、企業連携による教育向上推進事業の資料なのですが、企業が参加するという方ではなくて私の方では、学校行事に参加しやすくするとか、そういったことがこの中に書かれているのですけれども、そういう取り組みかと思い期待していたのですが、どうなのでしょう。実際に小中学校においては、今先生の働き方改革で、色々な行事が平日にシフトしてきている状況で、平日にお父さん、お母さんが休んで行事に参加することにだんだんなってきた状況なので、企業にも支援していただくという事業かなと思ったのですが、いかがでしょうか。子育て応援企業の取り組みの(3)です。その部分についてどのような取り組みをされているのかということをお聞かせ願いたいのですが、よろしいでしょうか。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

実際に行うのは、各企業ですので、こちらの方からはお願いしかできないと思っています。流れとしては有休休暇を取りましょうという流れになっていると思いますので、企業の方にも再認識していただく意味も込めまして、こちらからもお願いするというような取り組みは行っていきたいと思っています。

○長橋委員

是非よろしく申し上げます。ありがとうございます。

○議長

他にございますか。

○鈴木委員

無料学習塾と子供食堂のボランティアのお手伝いをさせていただいているのですが、私が参加させていただいている青い羽根学習会在籍の中学3年生、今年12名のうち9名が無料学習塾で勉強して県立に合格して、あと3名は3年間授業料無料の単願切り替えが2名、スポーツ推薦が1名ということで、全員合格してすごくうれしかったです。無料学習塾や子供食堂で、大きくなってからまた手伝いに来る子もいるということなので、本当にこの社会教育や地域のことを一生懸命、皆さんがやっていることがすごくすてきなことだと思うので、もっともっとお手伝いしたいと思うのですが、どのように関わっていったらいいのか、どんなところにお手伝いさせてくださいと言えればいいのかというのがわからない人もいますし、私もまだもっとお手伝いしたいけどどうしたらいいのかなと思うことがあるので、そういう発信も是非、この社会教育という意味では、もっと温かい活動ができたらいいなと思っていますので、これからも御提案をたくさんお願いしたいと思います。

○議長

他にございますか。

○上田委員

社会教育委員の会議というのは、法令上は教育委員会に対して、社会教育に関して意見を述べたり、或いは諮問に対して答えたりするという役割があって、他の自治体は、社会教育について委員の人達でテーマを決めて議論をしたり、或いは報告書を出したり、或いは提言書を出したりという取り組みをしています。ここを1年私が関わる中で、基本的にはこういうことやりました、こうい

うことやります。質問をして答えるというような会議で、これもとても大事な
ことではあると思うのですが、少し社会教育委員としてつくば市の社会教育を
どう考えていくのかどうやったらいいのかということを中心にディスカッショ
ンする機会も、どこかで設けられたらと思っています。

○議長

御要望、御意見ですよね。御検討いただくということによろしいですか。

○石黒委員

子供食堂をやっています。場所は交流センターの調理室を借りています。
先ほどからの交流センターの講座や家庭教育学級の推進していくためにも、た
だ食べるのではなくて、減塩とか、栄養とか、美味しく楽しくという目でも見
せるとかということもやっています。できればコラボしてはどうかと思いまし
た。食事もしつつお金はいただきますが、色々な企画を組み込んでいくことを、
土曜日にやっていますので、働いている方でも可能かなと。小さい子を連れて
きて、その日は作らなくていいから、もうそれでいいんだよという話をさせて
もらって、子育て真最中の人は大変なので、いかに地域の周りの大人が支援で
きるかというのも、社会教育の一つかと思っておりますので、是非コラボできたら
いいと思いましたので意見を述べさせていただきました。ありがとうございます。

○議長

御検討事項という形でよろしいですか。お答えどうぞ。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

不勉強で申し訳ないのですが、子供食堂というのは親子でいらっしゃる場合が
多いのですか。

○石黒委員

本来は、色々な貧困家庭や子供の育成に関して、食がなかなかというところの
支援だと思っておりますが、青い羽根募金と同じ分野なのですけども、ただ、ど
なたでも来てもいいということになっておりますので、お1人になってしまった

老人の方もいらっしゃるし、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒にお孫さん来たりとか、子供だけで来るとか、子供が18歳まで100円で、大人は300円で、市のこども未来室の方の企画で一部補助金をいただいてやっております。ボランティアで関わっているのですけども。ツイッターを見ていただくと、メニュー等も載せておりますので、是非よろしくお願ひします。

○生涯学習推進課社会教育係福田係長

ありがとうございました勉強いたします。

○議長

他にございますか。皆様の御協力をいただきまして、今日の議題は全部終わりましたので、事務局にマイクをお返しします。御協力ありがとうございました。

6 閉会

○生涯学習推進課大久保課長

次回の会議についてお知らせです。委員の改選がございます。任期が7月31日までとなりますので、それも含めて、次回の会議は8月を予定しております。

以上をもちまして、令和3年度第2回つくば市社会教育委員会会議を閉会いたします。長時間にわたりまして、貴重な御意見をありがとうございました

令和3年度第2回つくば市社会教育委員会議

次 第

日時 令和4年(2022年)3月24日(木)
午前10時～午前11時30分
場所 つくば市役所 2階 会議室204

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 職員紹介

- 4 議題 (1)令和4年度主催事業概要について
中央図書館 令和4年度社会教育事業について
文化芸術課 令和4年度社会教育事業について
スポーツ振興課 令和4年度社会教育事業について
生涯学習推進課 令和4年度社会教育事業について

(2)企業連携による教育力向上推進事業について
生涯学習推進課社会教育係

- 5 その他
- 6 閉会

【資料】

資料1 令和4年度主催事業概要
中央図書館
文化芸術課
スポーツ振興課
生涯学習推進課

資料2 企業連携による教育力向上推進事業
企業連携による教育力向上推進事業(企業への説明資料)
企業de家庭教育(チラシ)
企業DEいきいき家庭教育(リーフレット)

令和3年度第2回社会教育委員会議

資料1 令和4年度主催事業概要

中央図書館	令和4年度社会教育事業について
文化芸術課	令和4年度社会教育事業について
スポーツ振興課	令和4年度社会教育事業について
生涯学習推進課	令和4年度社会教育事業について

日時 令和4年(2022年)3月24日(木)
午前10時～午前11時30分

場所 つくば市役所 会議室204

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	中央図書館		係	管理係 サービス係	
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業				
予算額	40,407 千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	オンライン化されている地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することにより、中央図書館と4か所(谷田部・筑波・小野川・菫崎)の交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と市域全体の図書館サービスの向上に資する。		事業実績		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 ・ 4 交流センター図書室運營業務委託 ・ 4 交流センター図書室図書備品購入 				
年度	令和3年度		令和4年度		取組実績値 (R4.2末現在)
取組の目標値	貸出冊(点)数	385,000	貸出冊(点)数	410,000	
今年度の計画	中央図書館とオンライン化されている4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。		目標に対する成果		
事業の課題	平成27年度からオンライン4交流センター図書室運營業務委託を図書館が行い、新しい図書資料を増やしてきた。引き続き、市民がサービスの向上を享受できるよう各交流センター図書室の蔵書の充実を図っていく。 また、地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図りサービスの向上を目指す。交流センター図書室によって、資料の老朽化が進んでいたり、利用者が急増していたりと状況が異なるため、資料購入費の配分の方法が課題となる。 現在の委託業務の内容についてについて検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、次年度以降の運營業務の委託内容に反映させる必要がある。 また、予算の増額が困難な中、運營業務に必要な人材(司書有資格者)を継続して確保していくことが課題となる。		課題への対策		
			次年度目標		貸出冊(点)数 410,000

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	中央図書館			係	管理係 サービス係	
事業名	図書館運営に要する事業					
予算額	49,669 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	図書館資料の充実を図り、読書や調べ学習など市民の様々な要望に応えるべく積極的に生涯学習を支援する。			事業実績		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 1 各種図書館事業 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験 8年生を対象とした事業 ・ジュニア図書館員 4、5、6年生を対象とした事業 ・学校訪問ブックトーク 小中学校、義務教育学校を訪問し、本を紹介する事業 ・インターンシップの受入 図書館勤務を志す大学生を対象とした事業 ・ファーストブック講座 子育てに絵本を活用するきっかけをつくる事業 ・図書リサイクル 不用になった図書を市内公共施設や市民に還元する事業 ・広報活動 公園通りの図書館通信「ヨモッカ」7,000部(年1回)及び「こどもヨモッカ」7,000部(年1回)の発行 2 図書館協議会、図書館ボランティア活動 3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入 					
年度	令和3年度		令和4年度		取組実績値 (R4.2未現在)	
取組の目標値	所蔵資料点数	490,000	所蔵資料点数	490,000	所蔵資料点数	482,825
今年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・電子図書館の導入 ・これからの図書館のあり方についての検討 ・返却ポイントの増設 			目標に対する 成果		
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止、又は縮小となった。取東が見えない中、感染症防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。 ・図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言の内容について引き続き検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。 			課題への対策		
	次年度目標	所蔵資料点数	490,000			

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	文化芸術課		係	文化振興係	
事業名	つくば市民文化祭				
予算額	12,257千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流促進を目的としている。		事業実績		
概要	<p>○開催期間 11月5日（土）～6日（日） ※ノバホール音楽会は11月12日（土）～13日（日） ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレーパーク 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】 絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽 など 【ステージ部門】 民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンス など 【その他】 囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】 声楽・器楽</p>				
年度	令和3年度		令和4年度		
取組の目標値	-	人		人	取組実績値
今年度の計画	三密を避けた開催様式を検討する。		目標に対する成果		
事業の課題	参加者の半数以上が高齢者である。いかに若い世代の参加者を増加させるかが今後の課題となっている。		課題への対策		
			次年度目標		

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	文化芸術課			係	地域交流支援係	
事業名	地域交流センター講座					
予算額	5,530 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため。			事業実績		
概要	市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。 前期講座は、50講座程度、定員約700名で5月に募集し、開講を予定、後期講座は、50講座程度、定員約700名で9月に募集する予定。					
年度	令和3年度		令和4年度		取組実績値	
取組の目標値	延受講者数	- 人	延受講者数	人		
今年度の計画	講座の内容は、高齢者・小学生・親子・女性・男性向けなど多岐にわたり企画し、土日、夜間の講座も開講する。 また、つくば市消費生活センターや消防署など他部署による普及促進講座も開講する。			目標に対する成果		
事業の課題	受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があった。 アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。			課題への対策		
				次年度目標		

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	文化芸術課			係	地域交流支援係	
事業名	生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理					
予算額	66,744 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため			事業実績		
概要	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。					
年度	令和3年度		令和4年度		取組実績値	ふれあいプラザ利用者数
取組の目標値	ふれあいプラザ利用者数	30,000人	ふれあいプラザ利用者数	人		
今年度の計画	生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。 ふれあいプラザ利用者数 30,000人、約240講座を開講予定			目標に対する成果		
事業の課題	開館から15年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えているため、計画的に改修を行っていく必要がある。			課題への対策		
				次年度目標		

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	スポーツ振興課		係	スポーツ推進係	
事業名	スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員				
予算額	3,201 千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	<p>(スポーツ推進委員) 市が開催するイベント等において企画、助言、協力をし、また市民に対し実技指導を行い、つくば市の体育振興に貢献する。</p> <p>(スポーツ推進審議会委員) 市長の諮問機関として、スポーツ推進に関する施策について意見を求め、有識者、スポーツの専門家及び市民等のそれぞれ立場から提言・助言をいただく。</p>		事業実績		
概要	<p>(スポーツ推進委員) ・市主催事業(つくばウォークラリー大会、つくば健康マラソン等)において係員として協力する。 ・県南スポーツ推進委員協議会研修会に参加する。</p> <p>(スポーツ推進審議会委員) ・審議会において、つくば市スポーツ推進計画の進行管理の実施状況とスポーツ事業の概要について報告し、審議いただくと共に、スポーツ推進に関する施策について、委員の意見等を各種施策に反映させる。</p>				
年度	令和3年度	令和4年度	取組実績値		
取組の目標値	<p>(スポーツ推進委員) イベント等協力・参加者数 300人 (スポーツ推進審議会委員) 開催数 2回</p>	<p>(スポーツ推進委員) イベント等協力・参加者数 300人 (スポーツ推進審議会委員) 開催数 3回</p>			
今年度の計画	<p>(スポーツ推進委員) 市が開催するイベント等において、協力や参加をする (スポーツ推進審議会委員) スポーツ推進審議会開催</p>		目標に対する成果		
事業の課題	<p>(スポーツ推進委員) スポーツ推進委員として更なる資質の向上、活動の促進を図る。</p>		課題への対策		
			次年度目標		

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	スポーツ振興課		係	スポーツ・レクリエーション係	
事業名	スポーツ大会開催				
予算額	24,324 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場を提供する。				
概要	<p>(つくばマラソン) つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が中心となりつくば市の魅力を市内外にPRするとともに活力ある街づくりを推進するためにマラソン大会を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気軽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5 Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>				
年度	令和3年度		令和4年度		
取組の目標値	参加者数	人	参加者数	人	
取組実績値					
今年度の計画	<p>(つくばマラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策をとり、適切な規模、体制による大会を開催する。また、オンラインマラソンや練習会等、関連企画の実施も検討する。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、「ランナーに愛されるまちの実現」の取組の一環として、誰もが気軽に参加できる大会を開催する。</p>				
事業の課題	<p>(つくばマラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策及び悪天候への対策を講じた会場の見直しやレイアウトの変更等の検討をおこなう。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策を講じた運営方法や会場レイアウトの検討をおこなう。</p>				
課題への対策					
次年度目標					

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	スポーツ振興課		係	スポーツ・レクリエーション係	
事業名	スポーツ教室開催				
予算額	3,354 千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	スポーツ教室を開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。		事業実績		
概要	市民を対象に、様々な種目のスポーツ教室を開催する。1種目は週1回×4回程度実施し、年間10種目程度開催する。				
年度	令和3年度		令和4年度		取組実績値
取組の目標値	参加者数	人	参加者数	人	
今年度の計画	新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、様々な種類のスポーツ教室を広く開催し、より多くの市民がスポーツに触れる機会を提供する。		目標に対する成果		
事業の課題	スポーツ教室を実施することで、事業の目的を達成できているかの検証を行う必要がある。		課題への対策		
			次年度目標		

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	生涯学習推進課		係	青少年教育係	
事業名	青少年健全育成事業				
予算額	6,016千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	つくば市青少年相談員が中心となり青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業を展開する。		事業実績		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施） ・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 				
年度	令和3年度		令和4年度		
取組の目標値	あいさつ・声かけ運動実施数	120回	あいさつ・声かけ運動実施数	120回	取組実績値
今年度の計画	あいさつ・声かけ運動実施数：120回 「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を積極的に推進していく。		目標に対する成果		
事業の課題	青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。		課題への対策		
			次年度目標	あいさつ・声かけ運動実施数	

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	生涯学習推進課		係	青少年教育係	
事業名	青少年体験学習事業				
予算額	1,213 千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	青少年の自主的な活動や体験を行い、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、学外の体験学習を通して社会力を育成するために事業を推進する。		事業実績		
概要	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。また、毎月1回社会教育指導員が青少年の活動の相談対応・支援を行う。さらに居場所事業の周知のために特別開催日を設定した。</p> <p>○つくば子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付します。</p>				
年度	令和3年度		令和4年度		
取組の目標値	青少年体験学習事業参加者数	24	青少年体験学習事業参加者数	24	取組実績値
今年度の計画	青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。		目標に対する成果		
事業の課題	青少年が自主的な活動や体験ができるよう、昨年度の実績を踏まえ事業の展開を図る。		課題への対策		
			次年度目標		

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	生涯学習推進課		係	青少年教育係	
事業名	つくば市二十歳の集い事業				
予算額	6,413千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催する。		事業実績		
概要	市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。 ○主催 つくば市・つくば市二十歳の集い実行委員会 ○期日 令和5年（2023年）1月8日（日） ○会場 つくばカピオアリーナ ○該当者 平成14年（2002年）4月2日～平成15年（2003年）4月1日生まれの方 対象者数 2,711人（令和3年10月1日現在）				
年度	令和3年度		令和4年度		取組実績値
取組の目標値	参加者数	1,500人	参加者数	1,500人	
今年度の計画	・式典を円滑に進行すること。		目標に対する成果		
事業の課題	・多くの二十歳を迎える新成人が集まるため、終息が見込めない新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策を行っていく。		課題への対策		
			次年度目標		

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	生涯学習推進課		係	社会教育係	
事業名	家庭教育支援事業				
予算額	3,320千円		決算額	千円	
事業概要			事業実績		
目的	家庭教育の推進のために幼稚園、小、中学校の家庭教育学級において、親としての資質向上を図るための事業を実施する。		事業実績		
概要	<p>社会教育指導員を配置し、家庭教育学級事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭教育学級開催 市内3か所(大穂、吾妻、みどりの) ・幼児家庭教育学級開催 市内3か所(小野川※新設、竹園、ゆかりの森) <p>保育所における社会教育講座を9か所で実施する。 社会教育講演会を開催し、学級の枠を越えた学習機会を設ける。 企業への家庭教育学級を推進する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策をとり、講座や講演会の開催は、会場の参加人数を制限し、オンラインでの開催や動画配信を行う。</p>				
年度	—		令和4年度		
取組の目標値	—	—	家庭教育学級参加者数	20,500人	取組実績値
今年度の計画	企業への家庭教育学級を推進する。 幼児家庭教育学級開催地を1か所（小野川）増やし、3か所で開催する。		目標に対する成果		
事業の課題	動画を視聴するだけの学習では学習効果が表れにくい。		課題への対策		
			次年度目標		

令和4年度（2022年度）社会教育事業の報告

担当課	生涯学習推進課		係	
事業名	生涯学習施設管理			
予算額	28,462千円		決算額	千円
事業概要			事業実績	
目的	生涯学習社会の実現に寄与し、郷土に対する理解、伝統芸能の継承などを目的とする。			
概要	<p>つくば市民研修センター(北条)の指定管理を行う。また、古民家を有するさくら民家園(中央公園)の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターにおいては、利用団体合同発表会、夏休み子どもイベントなど多種多様なイベントを実施する。</p> <p>さくら民家園においては、2～3月にかけて雛飾りを展示する。</p>			
年度	令和3年度		令和4年度	
取組の目標値	利用者数 市民研修センター さくら民家園	35,000人 7,000人	利用者数 市民研修センター さくら民家園	35,000人 7,000人
今年度の計画	指定管理施設では各種講座、イベントを実施。			
事業の課題	コロナ禍において利用者数増加は困難であるが、施設ごとの利用ガイドラインに従い、感染拡大防止に配慮しながら安全に利用してもらうことが最優先となる。			
	課題への対策			
	次年度目標			

令和3年度第2回社会教育委員会議

資料2 企業連携による教育力向上推進事業

- ①企業連携による教育力向上推進事業(企業への説明資料)
- ②企業 de 家庭教育(チラシ)
- ③企業DEいきいき家庭教育(リーフレット)

日時 令和4年(2022年)3月24日(木)
午前10時～午前11時30分

場所 つくば市役所 会議室204

企業連携による教育力向上推進事業

家庭教育学級とは

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子供が基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身に付ける上で重要な役割を果たすものです。

しかしながら、近年の都市化、核家族化、少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化、近年の度重なる青少年の凶悪犯罪や、いじめ、不登校など、家庭や家族を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭の教育力の低下が指摘されています。

家庭教育学級は、子供の健やかな成長と豊かな人間形成のために、親が相互に学び合う場です。親が親として育ち、子育てや教育に生かせる内容を主体的に学習することが目的です。親同士が、共に学習することで、これまで自分たちの家庭では気付かなかった部分を発見し、補うことで、家庭教育の機能をさらに高めることが期待されます。

これまでの家庭教育学級は

これまでの家庭教育学級は、学校や公民館等で希望する親を募集して、子育てについて学ぶ講座を開設するという手法が主なものでした。

その結果、参加者は子育てに関心をもち、自ら進んで学ぼうとする親が中心であり、それ以外の親、例えば、孤立しがちな親や学ぶ余裕がない親などへの支援が広がりにくい面がありました。

これからの家庭教育学級は

今後は、家庭教育支援を、「学習を希望する親の支援」から「すべての親を対象とした支援」へと転換し、これまで手が届きにくかった親への働きかけも念頭に「戸口まで届く、心に迫る」取組を積極的に進めていく必要があります。つまり、地域や企業に出向く家庭教育学級の開設を進めていく事が重要になっていきます。

「子育て応援企業」の取組

企業においては、家庭教育を支援するための職場環境づくりや、CSR、地域貢献活動等による取組、社内研修等を活用した子育て講座の実施など、様々な取組を実施している「子育て応援企業」が増えています。

(1) 職場体験・職場見学

- ・ 地域の学校の児童生徒を企業等に招き、従業員が働く姿やもの作りの様子を見せたり、実際に仕事を体験させたりする。
- ・ 従業員の子供を企業等に招き、親の働く姿やもの作りの様子を見せたり、実際に仕事を体験させたりする。

(2) 地域行事への協力・支援

- ・ 企業等が取り組む社会貢献活動に従業員が家族ぐるみで参加する。
- ・ 子供が参加する地域の行事やレクリエーションに対して、企業等の施設を活動場所として提供する。
- ・ 地域の子供や親が参加できる行事やレクリエーションを実施する。

(3) 学校行事への参加促進

- ・ 従業員が参観日等の学校行事に参加するための有給休暇を優先的に取得させるようにする。

(4) 生活リズムの向上

- ・ 従業員の家庭において、子供が早寝、早起きをし、親子で朝ごはんをとるように働きかけを行うなど、子供の基本的な生活習慣を身に付けさせる取組を行う

(5) 職場の子育て環境づくり

- ・ 従業員を対象とした家庭教育に関する職場研修等を開催する。
- ・ 子育てについての従業員研修を実施する。
- ・ 家庭教育に関する資料等を掲示する。

働く保護者にとって、子育てや家庭教育の充実のためには、職場の理解や協力、ワークライフ・バランスの推進が欠かせません。

また、企業にとっても、子供たちの健やかな成長は、次代を担う人材の育成として、とても重要です。

家庭や地域だけでなく、こうした企業の取組の推進が益々求められています

企業de家庭教育

子どものかかわり方を学ぼう

職場・事業所で
家庭教育の研修を開催しませんか

子どもたちの家庭を取り巻く環境が大きく変化している中で、悩みを抱える保護者や仕事で忙しい保護者が増えています。企業における家庭教育講座を、是非、御活用ください。

テーマの例

早寝早起き
朝ごはん

子どもとの
関わり方

メディアの
視聴

時間 | 事業所のタイムテーブルに合わせて設定できます。

会場 | 事業所内のスペースをお貸しください。

内容 | 【研修の例】を参考に、相談しながらテーマを決めていきます

参加者 | 何名様からでも実施可能です

講師 | 希望により相談に応じます

お申込 | 別紙申込書を送付してください

お問い合わせ

つくば市教育局
生涯学習推進課

〒305-8555
つくば市研究学園1丁目1番地1
☎ 029-883-1111 (内線4520)

お申込みはつくば市ホームページで

家庭教育学級



<http://www.city.tsukuba.lg.jp/>

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

【学校などで行われている研修の例】

小中学生の子どもとの関わり

- 親子で考える子どもの未来
電子メディアとの付き合い方
- レジリエンス 折れない、
しなやかな心の育て方
- 自分でつくろう自分のからだ
超簡単！じぶんメンシ



不安な育児解決！

- あかちゃんの成長と発育
 - ファーストブック
- 初めての育児に役立つ講座です。

参加者の声～乳児学級～

- ・今の月齢にあった子育てが学べました。
- ・同じ悩みをもつママたちと交流できました。
- ・リフレッシュできました。



思春期の子どもとの関わり

- 思春期の心とからだ 生と性
- 受験めし
- 思春期の子どもへの自立に向けての
親の関わり



お申込みは…

つくば市教育局生涯学習推進課

〒305-8555

つくば市研究学園1丁目1番地1

☎ 029-883-1111 (内線4520)

お申込みはつくば市ホームページで

家庭教育学級



<http://www.city.tsukuba.lg.jp/>

企業DEいきいき家庭教育

～企業連携による教育力向上推進事業～

気づいたことから
家庭教育をはじめましょう!



働くお父さんやお母さんの「子育て」を応援します!!



家族みんなで生活リズムを整えましょう!!



茨城県教育委員会

企業連携による教育力向上推進事業とは?

家庭や地域の教育力が低下している状況の中、子どもたちを取り巻く様々な課題の解決のために、茨城産業会議の構成団体と連携し、学校・家庭・地域・企業が一体となって社会全体での教育力の向上を図る仕組みづくりを進めるものです。

家庭教育に関する資料

すくすく育てはじめの一步(0歳～3歳児の保護者向け)
家庭教育ブックひよこ(3歳～5歳児の保護者向け)
家庭教育ブック(就学前～小学4年生の児童の保護者向け)
家庭教育ブックつばさ(小学4年生～6年生の児童の保護者向け)

茨城 家庭教育ブック

検索

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/katei/book.html>から上記家庭教育支援資料がダウンロードできます。

家庭教育学級の講師紹介や運営の相談等は各教育事務所・学校教育課(生涯学習担当)で行っています。

茨城県水戸教育事務所 TEL 029-227-4451
茨城県県北教育事務所 TEL 0294-34-0774
茨城県鹿行教育事務所 TEL 0291-33-6138
茨城県県南教育事務所 TEL 029-822-7294
茨城県県西教育事務所 TEL 0296-24-9294

企業DEいきいき家庭教育

～企業における家庭教育支援リーフレット～

平成26年12月発行

編集・発行

茨城県教育庁生涯学習課

〒310-8588 水戸市笠原町978-6
TEL 029-301-5322 FAX 029-301-5339
E-Mail kigyuu@edu.pref.ibaraki.jp

協力

一般社団法人茨城県経営者協会
茨城県商工会議所連合会
茨城県商工会連合会
茨城県中小企業団体中央会

Q. 家庭教育とは?

「家庭」とは、愛情による絆で結ばれた場であり、常に子どもの心の拠り所となるものです。子どもが生きていくための基礎を培う場でもあります。「家庭教育」とは、すべての教育の出発点であり、子どもの健全な身体と人格形成のために、親またはそれに準じる大人が子どもに対して行う教育です。

Q. なぜ、家庭教育について学習する機会が必要なのですか?

今、子育てに不安を感じている保護者が増えています。こうした現状を踏まえ、企業・事業所等で働く保護者が、安心して仕事に励むことができるよう、企業において家庭教育について学習する機会が求められています。

Q. 企業内で行われる家庭教育についての研修ではどんなことができるのですか?

親が講座等で学習する機会となることはもちろん、親子で楽しみながら交流し、共通の話題を増やすことも大切な活動となります。具体的には、次のような内容が考えられます。

- * 家庭教育講演会(講座、経験談・情報交換等)
- * 職場探検・見学(保護者の職場を子どもが訪問)

Q. 講師には謝金がかかりますか?

市町村の社会教育指導員は基本的に謝金等は不要です。なお、講師情報の詳細は、本事業ウェブサイト(内面参照)をご覧ください。

Q. 合同で研修を実施してもいいですか?

規模の小さい企業・事業所においては、複数の企業での合同研修でも結構です。また、経済団体の青年部組織等の研修の際に家庭教育の研修内容を入れていただくこともお勧めします。

Q. どのように計画すればよいですか?

- 1 テーマ
家庭教育に関する今日の課題・社会問題はもちろん、従業員の皆さんの意識や悩み、子どもの実態を考慮して設定しましょう。子を持つ従業員に事前アンケートで意見を聞くこともテーマ設定の参考になります。
- 2 方法
・ 講演会型(講師が一定のテーマで、講義する形式)
テーマに適した講師を依頼し、専門的な話をしてもらうなど課題に応じた学びの場がつけられます。
・ フリートーク型(一定のテーマについて少人数で話し合う形式)
話をすることによって悩みや不安を軽減・解消することができ、自分の子育てに安心感や自信をもつことができます。
・ 体験学習型(活動の目的に従い、実際に身体を動かしたり、物をつくったりする活動)
体験学習をとおして、家族のふれあいができます。家庭教育に関する講話や情報交換を取り入れると学びが深まります。
- 3 進め方
事前・当日などに分けて考えるとよいでしょう。方法によって当日の進め方も違ってきます。
〔事前〕学習内容の設定、期日・日程(プログラム)・会場の調整、講師の選定と依頼・打合せ、開催案内の作成・配布、参加者の取りまとめ、資料作成
〔当日〕進行、講師のサポート、研修に関するアンケートの実施
- 4 講師の依頼
学習内容に応じた講師を選ぶことで、参加者の学習が深まり、満足度が高まります。講師派遣の依頼や謝金等については、各教育事務所に相談してください。

～企業における家庭教育の事例紹介～

テーマ 一緒に見直そう 自分の生活 子どもの未来

企業・団体名 (人数) 茨城県塗装工業組合青年部 (15名)

講演内容

- (1) 現代の子どもの食事の特徴
- (2) 朝食と学力
- (3) 親の生活習慣と子どもへの影響
- (4) 最近の中学生のメディア事情
- (5) 地域の大人にできること



テーマ ムーミン童話に学ぶ

企業・団体名 (人数) アクモス株式会社 (13名)

講演内容

- (1) ムーミン童話の背景
 - ・フィンランドって?
 - ・作家はどんな人?
- (2) ムーミン語録
 - ・ムーミン童話から
- (3) ムーミン流生き方
 - ・スロー、シンプルライフ
 - ・わくわくドキドキ
 - ・無条件の愛情



テーマ 家庭教育の問題点、親と子のかかわり方

企業・団体名 (人数) 株式会社ダイショー関東工場 (45名)

講演内容

- (1) 親と子の関係とは
- (2) 現代の親子関係の実態
- (3) ロールプレイ
 - ・子育ての悩みの傾聴、発表及び共有
- (4) 親子のコミュニケーション



テーマ 生まれてきてくれてありがとう ～子どもの心の育ち方～

企業・団体名 (人数) 茨城トヨペット株式会社 (16名)

講演内容

- (1) 親とは?
- (2) 子どもの心の発達と親の関わり
- (3) 子どもをダメにする10カ条
- (4) レッツ、ロールプレイ



テーマ 親の日々のかかわり方 ～親の想い子の想い～

企業・団体名 (人数) 中川ヒューム管工業株式会社 (16名)

講演内容

- (1) 夫婦の関係と子どものコミュニケーション力
- (2) 日頃のカウンセリング現場から
- (3) ロールプレイ
 - ・傾聴トレーニング
- (4) 聴くことの大切さ



テーマ 仕事と子育ての両立

企業・団体名 (人数) 株式会社フロンティア水戸 (18名)

講演内容

- (1) 働くとは
- (2) 自分の育ってきた環境を次世代へつなぐ
- (3) ワークショップ
 - ・幼児期の体験
 - ・仕事と子育ての両立とは?
 - ・働きやすい職場とは?
 - ・シェアリング



※本事例は平成25年度まで実施していた「いきいき子育て地域連携実践講座開設事業」の家庭教育研修会の事例が含まれます。



企業との連携による教育支援のウェブサイトには「企業による家庭教育」に関する事業を実施するためのさまざまな情報が掲載されています。ぜひ、活用してください。

掲載内容

「家庭教育の事例」、「事業の進め方」、「講師一覧」など
講師一覧は、内容・派遣対象地域等の項目で検索することができます。(市町村の家庭教育推進員や社会教育指導員等)
※企業による学校支援(出前授業の実施、職場体験・見学の受入れ等)の事例の紹介や実施企業の検索の情報も掲載されていますので参考にしてください。

「企業との連携による教育支援ウェブサイト」URL : <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/kigyou/>